

土地家屋調査士 CONTENTS

NO. 822
2025 July



表紙写真
「夏空の丹鉄」

第39回写真コンクール入選
栗辻 寛紀●大阪会

令和5年7月、出張で通りかかった由良川第一橋梁。
入道雲がモクモクと大きくなった夏空に、一両編成の丹後鉄道。列車を取り囲む様にカモメが一緒に走る姿が感動的でシャッターを押した一枚です。

- 02 全国の会長紹介
- 11 「変わっていく時間」に希望を持って
～第75回“社会を明るくする運動”に寄せて～
法務省保護局更生保護振興課
- 13 愛しき我が会、我が地元(4巡目) Vol.137
栃木会／広島会
- 17 12人の土地家屋調査士 第10回
- 20 研究所研究報告(令和5～6年度)にあたって
土地家屋調査士総合研究所長 秋山 昌巳
- 21 広報員後記
- 25 連合会長 岡田潤一郎の水道橋通信
- 27 会務日誌
- 28 各土地家屋調査士会へ発信した主な文書
- 29 土地家屋調査士名簿の登録関係
- 31 日本土地家屋調査士会連合会 業務支援システム
調査士カルテ Map
- 32 令和8年度明海大学不動産学部総合型選抜(企業推薦)のご案内
- 33 研修管理システム「manaable (マナブル)」の利用登録
- 35 ちょうさし俳壇 第482回
- 36 地名散歩 今尾 恵介
- 38 国民年金基金だより
- 39 公嘱協会情報 Vol.174
- 41 第19回全国青年土地家屋調査士大会 in HOKKAIDO
参加者募集
- 42 ネットワーク50
宮崎会／大分会
- 44 編集後記

全国の会長紹介

令和7年は、二年に一度の土地家屋調査士会役員の改選の年です。

広報部ではこの機会にと、全国の会長の皆さんをご紹介します。是非、ご一読ください。

関東ブロック



はしだて にさく
橋立 二作 (東京土地家屋調査士会)

(抱 負) 適正な報酬額と社会的地位の向上
(趣 味) ゴルフ ドライブ(地方の道の駅巡り)
(好きな言葉) 初心忘るべからず



にしだ たかまろ
西田 貴麿 (神奈川県土地家屋調査士会)

(抱 負) 会員の自助の先に互助があるような雰囲気の会にする。
(趣 味) 雪山と海で遊ぶこと
(好きな言葉) 毒喰らわば皿まで



たかはし おさむ
高橋 修 (埼玉土地家屋調査士会)

(抱 負) 透明性とオープンなコミュニケーションを大切に、全員参加型の会務運営
(趣 味) Audible、サイクリング
(好きな言葉) 変化を生むことで成長し、努力の先に達成がある。



きりや ふとし
桐谷 太 (千葉県土地家屋調査士会)

(抱 負) これからの時代に即した調査士会の運営を探求
(趣 味) サイクリング(最近は乗れていませんが)
(好きな言葉) 初心忘るべからず



くろさわ せいいち
黒澤 誠一 (茨城土地家屋調査士会)

(抱 負) 2期目です。現状を顧みて会員にとって何が最善かを意識し会務を運営、事業を執行していきます。
(趣 味) 棋戦鑑賞、アーティストライブ鑑賞
(好きな言葉) 義を見てせざるは勇無きなり



たかはし ひろゆき
高橋 洋行

(栃木県土地家屋調査士会)

- (抱 負) 会員減少に伴う会務運営と土地家屋調査士制度発展のバランス
(趣 味) スポーツ観戦、ゴルフ、トライアスロン
(好きな言葉) 感謝



あらい きよし
新井 清史

(群馬県土地家屋調査士会)

- (抱 負) 土地家屋調査士の存在感向上と認知拡大に積極的に取り組みたい
(趣 味) 1997年式スズキジムニーでソログループ野営、妻とおでかけ
(好きな言葉) 継続は力なり



ふるた じゅん
古田 潤

(静岡県土地家屋調査士会)

- (抱 負) 急速かつ激的に進む社会情勢に対応すべく組織、事業の改革が必要。
社会から信頼される土地家屋調査士会を目指す。
(趣 味) トライアル(オフロードバイク競技)国際B級、会長になっても全日本選手権出場
(好きな言葉) 意志あるところに道は開ける



わたなべ ひさお
渡邊 久雄

(山梨県土地家屋調査士会)

- (抱 負) 会務運営が円滑に進むための環境を用意する事に尽力する。
(趣 味) 生涯現役サッカー
(好きな言葉) 進取果敢



たぐち まさゆき
田口 正幸

(長野県土地家屋調査士会)

- (抱 負) 会員及び調査士会のために何が最善かを考えて会務運営するとともに、土地家屋調査士制度の発展を目指す。
(趣 味) スポーツ観戦、映画鑑賞
(好きな言葉) 千里の道も一歩から



かね こ ひとし
金子 仁

(新潟県土地家屋調査士会)

- (抱 負) 次世代の育成を図り、魅力ある土地家屋調査士制度の発展に貢献したい。
(趣 味) 犬猫と遊び、猫の額で野菜作り。ドライブ。
(好きな言葉) 立って半畳、寝て一畳、天下取っても二合半。

近畿ブロック



まつしま みのる
松島 稔

(大阪土地家屋調査士会)

- (抱負) 土地家屋調査士の周知に努め、会務を停滞させることなく、前進させる
(趣味) サイクリング、電車で遠方に出かける、野山の散策、お遍路
(好きな言葉) 病は口より入り、禍は口より出ず



なかじま まさゆき
中島 昌行

(京都土地家屋調査士会)

- (抱負) 会員の業務の安定及び会務の効率化
(趣味) 磯釣り・飲み
(好きな言葉) 有言実行



みしま ひろゆき
三嶋 裕之

(兵庫県土地家屋調査士会)

- (抱負) 1. 狭あい道路解消に向けての市町へ働きかけ
2. 官民境界確定事務民間委託へに向けての働きかけ
3. 10年先、20年先に向けての組織の見直し
4. 会費の適正化
5. 次世代へのバトンタッチ
(趣味) 釣り、テニス、ゴルフ
(好きな言葉) 至道無為、不動心



ふじむら よしろう
藤村 義朗

(奈良県土地家屋調査士会)

- (抱負) 土地家屋調査士の使命を理解し、覚悟と周囲への配慮を持って務める所存です
(趣味) 愛犬(トイプードル)と妻との散歩
(好きな言葉) 自他共栄



ふくやま ひろつぐ
福山 浩丞

(滋賀県土地家屋調査士会)

- (抱負) 次世代を担う会員の育成と調査士会の維持・発展に努める
(趣味) 合気道師範、居合道
(好きな言葉) 敬天愛人



にしばた としひこ
西端 俊彦

(和歌山県土地家屋調査士会)

- (抱 負) 会員が社会貢献を実感できる活動を実施することです
(趣 味) ゴルフと草野球
(好きな言葉) 人の振り見て我が振り直せ

中部ブロック



かわい ひでゆき
川合 秀幸

(愛知県土地家屋調査士会)

- (抱 負) 土地家屋調査士のステータス向上
(趣 味) 下手なゴルフ、年1のウェイクサーフィン、お城巡り
(好きな言葉) 人生は一度きり



かわい かずひろ
川井 一浩

(三重県土地家屋調査士会)

- (抱 負) 制度の発展と認知度向上に向けて努力するとともに、次世代の育成と他
士業との交流を図る
(趣 味) グルメ旅行、ゴルフ
(好きな言葉) 人事を尽くして天命を待つ



いませ つとむ
今瀬 勉

(岐阜県土地家屋調査士会)

- (抱 負) ミクロとマクロの視点を併せ持ち、土地家屋調査士の知識と技術を研鑽
し、もって国家の基盤を支える
(趣 味) 「坂の上の雲」の復読、らん(チワワ)と戯れること
(好きな言葉) 今を生きる



やまざき ゆうじ
山崎 勇二

(福井県土地家屋調査士会)

- (抱 負) 次世代へバトンを渡すための環境整備に努める
(趣 味) 御朱印集め アウトドア全般
(好きな言葉) 取捨善択



ありかわ むねき
有川 宗樹

(石川県土地家屋調査士会)

- (抱 負) 不動産の権利の明確化に努め、被災地の復興に貢献する。
(趣 味) 音楽鑑賞、神社巡り
(好きな言葉) rolling stone gathers no moss (転石苔生さず)



いしやま つとむ
石山 努

(富山県土地家屋調査士会)

- (抱 負) 土地家屋調査士制度を強く、富山県土地家屋調査士会を豊かに
(趣 味) ジョギング(遅いですが)、ゴルフ(下手ですが)
(好きな言葉) 継続は力なり
(そ の 他) 選ばれる資格、選ばれる職業となるよう頑張ります

中国ブロック



まつばやし つとむ
松林 勉

(広島県土地家屋調査士会)

- (抱 負) 国民に信頼され、国民に必要とされる土地家屋調査士を目指す
(趣 味) うまくなならないゴルフ練習
(好きな言葉) 有言実行



のりかわ しんじ
乗川 慎二

(山口県土地家屋調査士会)

- (抱 負) 社会に貢献する事を常に心がけ、地域に密着した土地家屋調査士を会員と共に目指します。
(趣 味) 映画鑑賞、ゴルフ
(好きな言葉) スマイル！笑う門には福来たる



さなだ ふとし
真田 太

(岡山県土地家屋調査士会)

- (抱 負) 第73回定時総会において3期目の会長職を拝命いたしましたので、引き続き2年間どうぞよろしくお願いいたします。
(趣 味) 旅行・音楽
(好きな言葉) 一燈照隅 万燈照国



なかがわ のりみ
中川 則美

(鳥取県土地家屋調査士会)

- (抱 負) 日本一明るい調査士会を目指します
(趣 味) 家事手伝い
(好きな言葉) 早寝早起き、今日できることは今日せい



みよし まさゆき
三好 正之

(島根県土地家屋調査士会)

- (抱 負) 土地家屋調査士制度の発展、充実に寄与します。
(趣 味) バイク(ツーリング・メンテナンス)
(好きな言葉) 上善如水

九州ブロック



むらやま たかのり
村山 隆徳

(福岡県土地家屋調査士会)

- (抱負) 調査士の認知度を上げ、会員が仕事しやすい環境を整える。
(趣味) 愛犬との散歩、ドライブ(食べ歩き)
(好きな言葉) 無私無偏



しばた こうすけ
柴田 浩輔

(佐賀県土地家屋調査士会)

- (抱負) 時代の変化に対応できる人材の育成、専門分野の知識の再確認と技術の向上を目指します。
(趣味) 旅行、バスケットボール観戦、スポーツ観戦
(好きな言葉) 温故知新



やまぐち けんいち
山口 賢一

(長崎県土地家屋調査士会)

- (抱負) 魅力ある土地家屋調査士業界を目指すとともに、開かれた会務運営に努めたい。
(趣味) 読書、神社めぐり、芋焼酎
(好きな言葉) ハングリーであれ、愚かであれ。



まつなが たけひこ
松永 建比古

(大分県土地家屋調査士会)

- (抱負) 環境の変化に対応できる柔軟性と強靱な体力と知見を併せ持つ組織づくり
(趣味) 健康ジョギング・ゴルフ・登山・読書
(好きな言葉) 小欲知足



たなか ひでかず
田中 秀和

(熊本県土地家屋調査士会)

- (抱負) 人を育てる
(趣味) 映画鑑賞
(好きな言葉) やってみせ、言って聞かせて、させてみて、ほめてやらねば人は動かじ



かみ こぶん かずよし
上小鶴 一善

(鹿児島県土地家屋調査士会)

- (抱負) 一生懸命頑張る会員の皆様が、報われるような会務運営をしていきたい。
(趣味) ゴルフ・旅行
(好きな言葉) 今する、すぐする、ちゃんとする。



くま まさひこ
隈 雅彦

(宮崎県土地家屋調査士会)

(抱 負) 会員個々の力を集結し、資格者団体として、土地家屋調査士の社会的地位の向上を目指す！

(趣 味) ゴルフ、魚釣り

(好きな言葉) One for all, All for one.



きんじょう ゆき お
金城 行男

(沖縄県土地家屋調査士会)

(抱 負) 会員が土地家屋調査士業を通じ社会貢献し成長発展していけるよう、会員の品位保持及び連絡に関する事務を徹底します。

(趣 味) ゴルフ

(好きな言葉) 「何事も楽しむ。」

東北ブロック



たかはし かずひで
高橋 一秀

(宮城県土地家屋調査士会)

(抱 負) 老若男女全ての会員が活躍できる組織作り。
社会から必要とされ、人々が憧れを抱くような資格者を目指す。

(趣 味) ゴルフ

(好きな言葉) 「日々精進」「日日是好日」



ど い まさてる
土井 將照

(福島県土地家屋調査士会)

(抱 負) 土地家屋調査士の知名度アップと業務環境の向上

(趣 味) 鉄道、航空機、艦船、乗り旅全般とガンプラを含むプラモ製作

(好きな言葉) 共存共栄



すがわら じゅん
菅原 淳

(山形県土地家屋調査士会)

(抱 負) 会員からより連合会のことを知ってもらい会務の運営を行っていく

(趣 味) テニス、音楽鑑賞、散策

(好きな言葉) 初心忘るべからず



さとう たもつ
佐藤 保

(岩手県土地家屋調査士会)

(抱 負) 岩手会会員が安心して働ける環境と、次世代への基盤を築きます。

(趣 味) ゴルフ、旅行

(好きな言葉) 不易流行(変わらぬ本質を守りつつ、時代の流れに応じて変化する)



ねもと さとし 根本 聡 (秋田県土地家屋調査士会)
(抱 負) 社会から必要とされる資格者であり続けるために、今やるべきことを会員とともに実行する。
(趣 味) WEBアプリや自動制御ロボットの作成、愛犬の散歩
(好きな言葉) 流水不垢 戸枢不腐



おがさわら あきら 小笠原 陽 (青森県土地家屋調査士会)
(抱 負) 会の発展と持続可能な組織づくりを目指す
(趣 味) 自動車、旅行、料理
(好きな言葉) 努力する人は希望を語り、怠ける人は不満を語る

北海道ブロック



さとう あきのぶ 佐藤 彰宣 (札幌土地家屋調査士会)
(抱 負) 土地家屋調査士の知名度の向上を図りたい
(趣 味) ゴルフ、読書
(好きな言葉) なるようになる



いそや としひと 磯谷 俊仁 (函館土地家屋調査士会)
(抱 負) 土地家屋調査士だからこそ
(趣 味) 家庭菜園
(好きな言葉) 猿も木から落ちる



うめの あらた 梅野 新 (旭川土地家屋調査士会)
(抱 負) 地方の土地家屋調査士を一人でも多く増やす為に尽力したい
(趣 味) 映画鑑賞
(好きな言葉) 初心忘るべからず



まつだ ひとし 松田 整 (釧路土地家屋調査士会)
(抱 負) 会員少数会の釧路会2期目の会長です。役員、会員、事務局のやる気が高まるような会務運営を心掛ける。
(趣 味) 家庭菜園、自宅で行うキャンプ料理
(好きな言葉) NOは無い。やるしかない！

四国ブロック

香川会は事情により、次月号の掲載となります。



にしおか けんじ
西岡 健司 (徳島県土地家屋調査士会)

(抱 負) 会員はじめ、役員、職員が一体となって、将来性のある調査士会であるよう取り組んで参ります。

(趣 味) 旅行、家庭菜園、超初心者のピアノ演奏



み た てつ や
三田 哲矢 (高知県土地家屋調査士会)

(抱 負) 現在の土地家屋調査士のため、未来の土地家屋調査士制度のため、その一助となるよう頑張ります。

(趣 味) 読書(活字中毒)

(好きな言葉) 嫌われる勇氣



とくなが てつ
徳永 哲 (愛媛県土地家屋調査士会)

(抱 負) 日本の社会に貢献する土地家屋調査士会として尽力します。

(趣 味) 神社仏閣、四国88か所参拝

(好きな言葉) 忘己利他

「変わっていく時間」に希望を持って ～第75回“社会を明るくする運動”に寄せて～

法務省保護局更生保護振興課

皆様方におかれましては、法務省が主唱する“社会を明るくする運動”（通称“社明”^{しゃめい}）に対し、日頃から多大な御協力を賜り、心より御礼申し上げます。

本運動は、国民の皆様が、犯罪や非行の防止と犯罪や非行をした人たちの立ち直りについて理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な明るい地域社会を築く（このような犯罪や非行からの立ち直りを支援する活動を「更生保護」といいます。）ための国民運動です。

1 「変わっていく時間」を「待つ」ために

昨年（2024年）の第74回運動では、「想う、ときには足をとめ。」をメインコピーとし、「待てない社会」「ファスト文化」などと揶揄される、高度に情報化された現代社会において、「待つこと」「時間をかけること」の価値に焦点を当てました。更生保護の世界では、「待つ時間」とは、人が「変わっていく時間」であり、人を信じて「寄り添う時間」です。では、更生保護に関わる方々は、どうして諦めずに「寄り添い」「待つ」ことができるのでしょうか。それは、立ち直ろうとする人に光を見出し、その将来に見える希望を信じているからではないでしょうか。

第75回のメインコピーは、「Time with Hope—進む、希望とともに。」。立ち直ろうと努力する人たちと、そんな彼らが変わっていくことを願って、寄り添い、ともに歩み続ける更生保護ボランティアの姿・時間に焦点を当てました。立ち直りを支える方々の想いを広く知っていただくことにより、もっともっと更生保護の魅力を感じてもらいたいと思っています。

2 第75回運動のコンセプトについて

第75回運動のコンセプトとして掲げたポイント



“社会を明るくする運動”
ウェブサイト



法務省保護局
公式 Instagram



法務省保護局
公式 X



法務省公式 YouTube
チャンネル

は、次の3つです。

- ① 将来の「希望」に向けて「人が変わっていくことを待つ」という更生保護の活動理念を通して、国民の各層に向けた更生保護ボランティアの存在の一層の周知を図る。
- ② より広い層に“社会を明るくする運動”や更生保護ボランティアの存在とその活動を知ってもらうための多角的な広報を行う。
- ③ 「国際更生保護ボランティアの日」の広報と“社会を明るくする運動”の有機的な連動を意識し、効果的な広報活動を目指す。
「国際更生保護ボランティアの日」について、詳しくはこちらのウェブページを御覧ください。



“社会を明るくする運動”
ウェブサイト
海外における更生保護
の取組

3 運動の輪を広げていく

これからも、人と人との温かな関係性の中でこそ人は変わっていくという更生保護の理念を大切に、本運動の更なる発展に希望を抱きながら広報活動を進めてまいります。

本運動は、各都道府県、市区町村において、地方公共団体、保護観察所、民間団体等が協力して、毎年、各地域に根差した特色ある活動を展開しています。本運動が目指す立ち直り支援の輪に、是非御参加ください。

本年も、全国各地において、多様で豊かな運動が展開されますよう、皆様方の御協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

第75回“社会を明るくする運動”リーフレット



主催 / 法務省

犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ
第75回 社会を明るくする運動

7月は“社会を明るくする運動” 強調月間・再犯防止啓発月間です

“社会を明るくする運動”は、すべての国民が、
犯罪や非行の防止と犯罪や非行をした人たちの
更生について理解を深め、
それぞれの立場で力を合わせ、
新たな被害者も加害者も生まない
安全で安心な地域社会を
築くための全国的な運動です。

“社会を明るくする運動”に参加しよう！

● 更生保護や“社会を明るくする運動”についてもっと知りたい方は
社会を明るくする運動ウェブサイト



● お問い合わせはお近くの保護観察所まで

保護観察所 検索

法務省保護局
公式
アカウント



法務省
公式YouTube
チャンネル



法務省保護局
公式Instagram
アカウント





がんばれるのは、どんなときだろう。
踏み張れるのは、どんなときだろう。

自分を認めてくれるひと言。
肩をたく手温かさ。
遠くから見守るそのまなざし。

待っている人の存在に気づいたとき。
立ち直れると信じられる。

たとえ時間がかかっても。
進む、希望とともに。

第75回“社会を明るくする運動”ポスター



がんばれるのは、どんなときだろう。
踏み張れるのは、どんなときだろう。

自分を認めてくれるひと言。
肩をたく手温かさ。
遠くから見守るそのまなざし。

待っている人の存在に気づいたとき。
立ち直れると信じられる。

たとえ時間がかかっても。
進む、希望とともに。

犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ
第75回 社会を明るくする運動

「社会を明るくする運動」は、犯罪や非行から立ち直ろうとする人々を支え、
新たな被害者も加害者も生まない安全・安心な地域社会を目指して展開される運動です。

社明 しゅめい 検索



主催 / 法務省

愛しき我が会、我が地元

4巡目

Vol. 137

栃木会 『私とジャズギター』

栃木県土地家屋調査士会 中村 満

以前から宇都宮市は、ジャズの街としての町興しにも力を入れ、イベント等実施しています。私もギターで活動していた時期がありましたので、趣味としているジャズギターについて、そして演奏する側の裏話などもお話しさせていただきたいと思います。

宇都宮市は、ジャズの街だけでなくカクテルの街としても有名であり、世界大会で賞を獲ったカクテルが多くあります。また、餃子の街としても有名な地であることは皆さんご存じではないでしょうか？

私は、趣味としてジャズギターを永く演奏しています。土地家屋調査士としてお仕事をさせていただく前までは、よくお店などで演奏させていただきました。今では年に数回になってしまいましたが、仕事の傍ら演奏活動は続けています。

ところで、ジャズのアンサンブルとして大きく分けますと、ビッグバンド(大編成)とコンボジャズ(少編成)があります。ビッグバンドは、ほぼ演奏する内容は譜面で決まっています。コンボジャズは、コード進行とリズムは共有し、他はアドリブ演奏となります。

数か月ほど前、東京亀有の友人宅へ行った際、近隣のジャズバーから演奏する音が聞こえてきました。入店し、メインバンドが演奏後、私も4、5曲飛び入りで演奏させていただきました。このように全く知らない方々であっても、すぐに心通わせることができる、これがジャズ演奏の一番良いところだと思います。

私が演奏活動している頃、通常ジャズは、ほとんどの場合、演奏場所に着いてから曲を決めます。当日一緒に演奏を共にするメンバーを事前に知ることは少なく、店に入ってから「やぁ久しぶりだね、元気だった？」となることもあります。また、事前にメンバーを知ることができても、当日になり別の人でトラ(エキストラのこと)が入ることもあります。

演奏する曲は、ステージ直前やステージ間の休憩中に打ち合わせをしたりします。時間があるときには、

少々音合わせをしてサウンドチェック等を行います。

選曲は、おおよそ曲のメロディーを担当する人が出しますが、お客さんの入り具合や年齢層、その日の自己の気分などにより変わるため、事前に予想することは不可能といった感じなのです。

このような事もありました。いざ本番となり全員ステージに立ったら、思いがけずステージすぐ前にグラスを片手に美しい女性が座っていました。それを見たメンバーのフロント(メロを奏でるバンドの中心となる人で、このような人は通常バンドの一番前にいるからフロントという)が事前に打ち合わせした曲を一切無視して、打ち合わせにないラブバラードから始めてしまったのです。有名な曲でしたので、他のメンバーはすぐにキーを探して演奏に付いていきましたものの、メンバーからすれば至って迷惑なことですね。

その他、早くメンバーが集合した時には、演奏曲の音出し、キメのポイントを合わせるものの、実際のステージになると打ち合わせと異なるイントロが出てきたり、エンディングが全く異なるなどは日常茶飯事です。

一般の方がステージ上で演奏しているところを見て、「メンバーで相当打ち合わせして練習しているのだろう」と思うそうですが違います。

その場で曲の内容を決めたり、急な状況変化に対応していくことについて「良く演奏できるね。」と言われますが、ジャズは基本のルールを守れば、すべてはアドリブでの演奏になります。「自分の演奏」ですから、メンバーが代わっても場所が変わっても演奏でき、逆にメンバーが代わった方が刺激があって楽しむこともできます。

演奏者のタイプによってオーソドックスな演奏をする人、前衛的な演奏をする人、様々ですが和音の進行とリズムは共有します。それ以外は決まっていません。事前にあまり細かく決めても、本番になっ

たら「打ち合わせどおり誰もやらない」などということもあります。

お客様の前だというのに、どのようにイントロ演奏が始まるのか、どのように曲をエンディングにもっていくのか、メンバー誰にもわからない緊張感、これらが多くのジャズミュージシャンを虜にしているのだと思います。

ところで、皆さんの知っている世界の音名について
日本 ハニホヘトイロ
イタリア ドレミファソラシ
英語圏 C(シー)D(ディー)E(イー)F(エフ)G(ジー)
A(エー)B(ビー)
となります。

色々とお話しさせていただきました。これを機会に少しでもジャズに興味を持っていただけたら幸いです。

そして、私はプロの方とも多く演奏させていただき、思うことがあります。プロジャズミュージシャンといえますのは、人生のうちの相当な時間を費や

して音楽理論等を習得、体得、経験を積んでいるにもかかわらず、生活するだけでも精一杯な方が多いことから、「演奏できるだけの努力家で、しかもその集中力があれば、何か他の生き方があったらうに」と考えてしまいます。ですが、この人たちは、演奏の中で偶然に息が合った時、思いもよらない突然の音楽的刺激、これらのほんの瞬間をいつも待ち受け、この瞬間をこの上なく愛している人たちです。

既に亡くなってしまった私のジャズの先生がよく言っていたことがあります。「演奏の中で息が合った瞬間は、たとえ男同士であろうと夫婦以上の仲だ」と。

最後に、私の演奏を読者の皆様宛てにUPしましたので、僭越ではありますがご一聴ください。曲は「All The Things You Are」1939年ジェロームカーン作のミュージカル曲でジャズの名曲です。使用ギターは、私の愛器でギブソン175 1958年のヴィンテージです。

では、皆様のご多幸をお祈りします。ありがとうございました。

<https://youtu.be/jfLSf2iHGbQ>



ライブ演奏の様子



広島会 『ここ最近の広島県土地家屋調査士会の広報活動』

広島県土地家屋調査士会 広報部理事 松本 泰弘

令和6年度の広島県土地家屋調査士会広報部の活動報告をさせていただきます。

土地家屋調査士制度が誕生して既に70年以上の歴史がありますが、残念ながら認知度は未だに低いままで、日々業務を行っていても「測量士さん？」などと言われることも多々あり、その度に「土地家屋調査士です！」と声を大にしてお答えしている現状がよくあります。

まだまだ努力？広報活動？が足りない状況が続いています。

さて、ここ最近の広島県土地家屋調査士会の広報活動を順に報告させていただきます。

まず、令和6年10月29日火曜日に広島市内の中学生を対象とする職場体験学習の希望があった広島市立広島中等教育学校の中学生(2年生)2名に広島県土地家屋調査士会館に来ていただき、土地家屋調査士の仕事を説明しました。

最初に、土地家屋調査士PRパンフレット、土地家屋調査士のメモ帳等のグッズを渡して、お互いの自己紹介から始めました。次に、土地家屋調査士制度制定70周年事業として行った「旧広島陸軍被服支廠(先のG7広島サミットでも話題になり、令和6年に国の重要文化財にも指定されました。)」を三次元化した仮想空間を、実際にゴーグルを付けてVR体験をしてもらいました。

また、TSを使って距離を測って歩測との誤差の話をするという測量の体験もしてもらい、ドローンを操縦するという簡単な体験もしてもらいました。

最後には、昼食を一緒に取りながら将来の夢等をざっくばらんに話してもらって終えました。

とても純粋な中学生に土地家屋調査士という職業を少しでもアピールできたのではないかと考えております。

続いて、令和6年12月18日水曜日に三原市立大和中学校において、3年生の1クラス28名に午後の1コマの時間をもらって出前授業をさせていただきました。ここでも、土地家屋調査士PRパンフレット、土地家屋調査士のメモ帳等のグッズを渡して、まず

は土地家屋調査士の概略のPRを行い、続いて数学の授業と言うこともあり、三平方の定理を使って実際の計算をしてもらいました。

現地にTSを設置して生徒に測距のボタンを押して計測してもらい、斜距離、水平距離を基に三平方の定理を使って離れた部分の高さを計算してもらいました。

前回に続き2回目の参加で、この度も思ったのですが、自分の中学生の時と違って、とても初々しく純粋な生徒達ばかりで、とても清々しい気持ちになりました。

当会としては今年で3年目と言うこともあり、授業を受ける中学校、私達広報部のメンバーも慣れてきて、授業自体とてもスムーズに行われました。

後日、中学校の方からいただいた受講された中学生のアンケートの回答の内容は、「楽しかった」「よく分かった」「土地家屋調査士の仕事に興味をもった」等の凄く嬉しくなるコメントがとても多く、今後も無限の未来が広がる中学生に土地家屋調査士の授業を続けて行きたいと思った出前授業になりました。

最後は、令和7年1月27日月曜日に三原市立宮浦中学校において、3年生の4クラスにそれぞれ出前授業をさせていただきました。

この度、宮浦中学校で出前授業を行うことになったのは、3年前の大和中学校での出前授業の時にお世話になった先生が同じ三原市内の宮浦中学校に赴任されて、こちらでも是非ともということで出前授業を行う流れになりました。

この先生がとても熱い先生で、この出前授業のことを他の中学校の方々にも話をされて、少しずつですが、土地家屋調査士の出前授業が広がっていく予感がしています。

その期待に応えられる様に土地家屋調査士会も体制を更にバージョンアップしていかなければと思っています。

三原のケーブルテレビ放送局からも取材に来られていて、インタビューも受けたりしましたので、三

原市から土地家屋調査士という職業の発信が始まっています。

授業の中身は、大和中学校からの授業の流れをそのまま流用して行いました。

こちらも後日談ですが、受講された中学生からアンケートの回答の内容は「楽しかった」「よく分かった」「収入はどうか?」「試験の合格率は?」等の質問があり、土地家屋調査士に興味を持ってもらえた感じがアンケートの回答からも読み取れて、有意義な授業ができたと思うのと同時に、将来「土地家屋調査士」を職業選択の一つの候補として考えてもらえるかな?という期待も少しですが持てました。

また、我々土地家屋調査士の業務の一つである筆界確認作業で一番頭を悩ませている隣接土地所有者

との筆界立会を、現在よりももっとスムーズにできるように方言を交えた親しみやすいチラシやポスターを作成し、土地をお持ちの方へ土地の維持管理の一つに筆界の維持管理も含まれていることを、無料相談会等で配布しアピールを行っています。

最後になりますが、今年度広島県土地家屋調査士会広報部として初めて活動させていただいて、少しですが魅力を発信できた様に思うのですが、一番身近な自分の子供達には伝えきれてなく、3人いる子供達は私の後を継ぐこともなく、残念ながら他の業界に行ってしまいました。なかなか伝えるってことは難しいですね。

ただ、これにも屈せず、これからも精一杯「土地家屋調査士」をPRしていきます!!



出前授業の様子①



出前授業の様子②



12人の土地家屋調査士

今年3期目の大阪会の副会長に就任された山脇優子会員。
土地家屋調査士業務、子育て、そして会務と、多くのご経験を
されてきた山脇会員に、「12人の土地家屋調査士」唯一の女
性土地家屋調査士としてインタビューさせていただきました。

◇：質問事項 ○：相槌

第10回 ワーク・ライフ・シナジー、そして調査士・会務・シナジー！

大阪会 山脇 優子 会員

意外にも男勝りな山脇会員

(自己紹介)

◇登録されてどのくらいでしょうか。

山脇会員)平成5年なので、32年くらいでしょうか。
バブルが弾けている最中のころかな。まだ弾け
きってはいなかったので、開業当初の売上は今
と比べても大分良かったです(笑)。

◇土地家屋調査士を目指すきっかけは何だったの
でしょうか。

山脇会員)普通に主婦をしていたけど、夫が不動産
業をしていたので、最初は宅建を取得したの。夫
が自分に何かあった場合に、ということがきっか
けではあったんだけど、もともと子育てが一段落
したら何かしたいと考えていたので丁度良かった。
それで宅建を取って、行政書士も何か参考書を見
てたら取れそうやな、と思って勉強して取って、
その後測量士補、土地家屋調査士を取りました。

○行政書士を見たら取れそうってすごいですね…。

山脇会員)一般教養なんかもあったんで、いけるかな
と思って。ただ土地家屋調査士は1回目の時は舐め
ていたので、まったく駄目だったけど。その後、司
法書士も取ろうと教材を取り寄せたけど、これ(こ
の量)はあかんわ、と思って断念した。土地家屋調
査士も元々は夫が取ろうとしていたけど、当時は
計算機の持込みが不可で計算尺かそろばんしか持
ち込めなかったのだけど、そういう計算が苦手だっ
たみたいで、じゃあ私が代わりにってね(笑)。

実は女性は土地家屋調査士に向いている！？

(女性調査士)

◇登録された当時、調査士に女性はいましたか。

山脇会員)少なかったですけど、いましたよ。同期



にもいるし、大阪でも30人くらいはいたかな。
元会長横山女史は、当時から本会の理事をして
はったし。この人すごいなと思って見てた(笑)。

◇昨今では、「男性だから」「女性だから」といった考
え方は、過去のものとなりつつありますが、当時
はいろいろ苦勞されたのではないですか。

山脇会員)考えたんだけど、あんまりないの。コン杭
も穴掘って入れるし、虫も草刈も別にそれほど嫌
ではないので。境界標を探すのも得意なんで。

○得意って何ですか？

山脇会員)例えば、穴を掘ってみて「無いわ」と思っ
ても、ここの地盤はまだ下やから、掘ったら絶対出
てくるって見つける。なので、女性だから苦勞し
たというよりは、逆に得したことの方が多いと思う。

○得したこと？

山脇会員)やっぱり女性はあんまりいないから、「何
でこの仕事しているの？学校はどこを出ている
の？」とか興味を持ってくれることが多い。特に
奥さんなんかと仲良くなることが多いです。印鑑
取得は奥さんと仲良くなったら強いから。

○確かにそれは強い。

山脇会員)あとは、もちろん人によるけど、警戒を
あまりされないかな。男性の場合、作業着でいき

なり挨拶に来たりしたら、警戒する人もいるやろうし、スーツでビシッとして行ったら、それはそれで怪しむ人もいると思うので、初めて会う場合でも警戒されないことが多い。立会いの説明なんか物腰柔らかな感じや、ゆっくり根気よく説明する感じなんかは、むしろ男性より女性の方が向いていると思う。なので、ADR業務なんか丁度そういった業務やと思うので、女性の方が向いていると思います。

自営業なので他業種よりやりやすい！？

(子育てしながらの業務)

◇最近では女性に限ったことではないですが、子育てしながらの土地家屋調査士業務について教えてください。

山協会員) 息子が保育園に通っている頃に試験勉強をして、登録した時は確か小学2年生やったかな。朝、通学するまではバタバタして、送り出してから家の隣の事務所に行くって感じですね。それで暇なときに家のことやりに帰ったり、夫も同じ自宅で働いていたので、昼食を作りに帰ったりして過ごしていたと思う。

○息子さんは下校してからはどうされていましたか。

山協会員) 学童ではないけど、学校終わってから集まる児童館みたいのがあって、息子は家に帰っても暇だからといって、そこで遊んで帰ってくることが多かった。私も仕事は夕方には切り上げて家に帰っていたかな。だいたいそういう感じだったけど、仕事がすごく忙しい時は、早朝に仕事していました。細かな家事は土日にしてたから、私に土日はなかった(笑)。

○ほんとにお疲れ様でした…。この時は本当大変やったというエピソードはありますか。

山協会員) 大変やったことを忘れるのは私の長所なので、ないかな(笑)。

まずは身近なところから

(会務について)

◇現在は3期目の大阪会副会長の山協会員は、境界問題相談センターおおさかの運営委員でもあり調

停員でもある。また、民間総合調停センター運営委員でもあり和解あっせん人でもある。また、某大学の招へい講師でもある。数々の役を経験されてきている山協会員ですが、こういった役を始めるきっかけは何だったんでしょうか。

山協会員) 当時、大阪会の新人研修を担当されていた西田寛先生(本企画第1号に登場)に誘われたのが最初かな。

○さすが西田先生。しかし、私が新人研修(ブロック研修)の時にも西田先生がご担当されていたような…。

山協会員) 当時同じ支部であった西田先生の事務所に挨拶に行き、その後当時の総合研究室に入ったのが初めてかな。ここでは、世界の登記制度の研究として、いろいろな資料を調べてまとめている。

○数々の役職をやってこられた中で一番やって良かったと思うのは何でしょうか。

山協会員) 寄附講座の講師やセンターおおさかの推進・運営委員なんかは、やって良かったなと思います。役は業務に関係していることがもちろんたくさんあるけれど、日常業務以外の内容や普段は会わない人と接することは、自分自身の視野を広げることにつながったと思う。人に教えるために、改めて勉強し直すことや、人に伝えるための工夫や注意点なんかも勉強できたのが良かった。もちろん、それ以外の役にも、それぞれの役目があるので、たくさん学ぶことがあったと思いますしね。

○色々やってこられた山協会員やから重みを感じますね。一番大変やった、しんどかったという役職があれば、教えてほしいです。

山協会員) 全部やね(冗談ぽく笑)。

○失礼しました(汗)。担当した役職が多すぎて、山協会員も何をやってきたか覚えていないとのこと、わざわざ昔の履歴書まで引っ張り出してきてご確認いただいたみたいです。どうもありがとうございました。

先輩は出る杭を打たない！

(若手達に)

◇昨今、少子高齢化の影響もあると思いますが、どうしても若手や新たな人材発掘が難しくなってき

ているのは、どこの土地家屋調査士会も同じだと思います。どうしたら、そういった新たな人材を引っ張ってこれると思いますか。

山協会員)私の場合は委員やったけど、まずは自分の身近な役からやってもらう方がいいんじゃないかなと思います。どこの役も人手は足りてないと思うから、手を挙げてもらえれば、例えば席が一杯でも「ほな代わりでやって」と言って代わられる人はたくさんいると思う。ただ、現実はどこも積極的な人は多くないと思うので、そこは委員会なんかが頑張らないといけないところでもありますよね。まずは身近な役をやって、本会に行く機会を増やしたり、先輩と接する機会を増やしたりなんかをしているうちに、自分の委員会等を知り、「こんなふうにしてほしい」とかの意見が出てくると思うので、そうなった時に、例えば理事になるとか、別の役をやって変えていく等の行動を起こしてほしいと思う。私も今回のインタビューのために、昔のことを色々思い出そうと考えてきたけど、本当にしんどかったことは全然出てなくて、楽しかったことはいっぱい出てくるので、やっぱり役をやるって大変だけど、振り返ると良いことだと感じるので、是非皆にやってほしいなと思います。特に最近では、執行部も高齢化してきているから、特に若い人たちにやってほしいなと思うんですね。受け入れる側も、まずはあの役をやってから、次にこれをやって、その後…なんて言ったら皆年取ってくるので、もっと出てきやすい環境を作っていくことも大事だと思います。

○最近土地家屋調査士法人に所属する若手が多いですね。

山協会員)土地家屋調査士法人に所属していると、一人土地家屋調査士より自由が利かないことが多いから、そういった人を受け入れるためにも、会務をもっと効率化していく必要がありますね。形式だけで集まったりするような会議も無くしたりね(笑)。ただ全てを例えばZoomにするとかというのは違って、やっぱり対面でないと出てこないアイデアなんかもあると思うし、その辺はうまくやっていかないといけないところですけどね。

責任感を持って、まずは行動

(インタビューをさせていただいて)

普段から所属する大阪会でもお世話になっている山協会員に、改めてかしまった形でインタビューをさせていただきましたが、山協会員のお人柄か(私のいい加減さか)、かしまった感じのインタビューにはなりません。副会長ということを忘れさせる物腰柔らかな感じが話しやすい雰囲気を作ってくださいました。そんな山協会員は、会務を行うに当たり大事にされていることは「責任感」とのことです。できるできないの前に、与えられた職務について、まずは行動することが大事だと。不作為が一番よくない。だから、気が付いたことやおかしいと思ったことは、めんどくさいと思いながらも意見を言ってしまうとのこと(笑)。女性だから、という偏見になると思いますが、ただ男性は空気を読んで言わない人が多いと思いますので、山協会員のこういった行動は、間違いなく大阪会の「風」になっていると思います！

広報員 玉置 直矢(取材・文)



研究所研究報告(令和5～6年度)にあたって

土地家屋調査士総合研究所長 秋山 昌巳

日本土地家屋調査士会連合会研究所^(※1)における令和5～6年度の研究員(5人)による5テーマの各研究が、令和6年度の中間報告^(※2)を経て研究報告書として取りまとめられ、過日、土地家屋調査士総合研究所規則第9条第2項に基づき、連合会長へ提出しました。

同報告書を連合会ウェブサイト(会員の広場)に掲載し、会員各位へここにご紹介いたします^(※3)。

令和5～6年度の研究は、研究所が定める事業計画^(※4)に基づき、実施してまいりました。

「表示登記制度に関する研究」につきましては、表示に関する登記制度の在り方を振り返り、現在の制度における課題を抽出するとともに、登記制度においてDX(デジタルトランスフォーメーション)を取り入れるとどのようなことができるのかという観点から、登記に関わる情報等について研究を行いました。

「土地家屋調査士制度に関する研究」につきましては、土地家屋調査士制度の成立過程と変遷をまとめ、現代社会に重ねた土地家屋調査士業務を俯瞰的に見ることで、土地家屋調査士の強みを再認識するとともに、将来の土地家屋調査士制度の在り方を模索しております。

「法第25条第2項に関する研究」につきましては、土地家屋調査士法第25条第2項に規定する「地域の慣習」に関して、過去における連合会や土地家屋調査士会等で実施した調査や研究を整理しております。「地域の慣習」を知ることが、その地域で活動する土地家屋調査士にとって、不可欠な要素となりますので、本研究の成果が、今後土地家屋調査士会において実施される「地域の慣習」に関する調査、研究の一助になることを願っております。

「先端技術に関する研究」につきましては、本研究は前期(令和3～4年度)の研究からの継続研究です。前期の研究では、バックパック型MMSを用いた法務局地図作成事業の効率化を図りましたが、その過程で上空視界不良やマルチパス等による誤差等の様々な問題点が顕在化しました。本研究では、LidarSLAMのような最新技術を伴う計測機器を用いることで、これらの問題点の解消を図り、将来的な利活用の可能性も見据えた、土地家屋調査士業務の一層の効率化を目指すものとなっております。

「狭あい道路に関する研究」につきましては、会長から付託された研究テーマで、狭あい道路の定義や発生原因、統計的な現状把握、国土交通省や各地方自治体の狭あい道路解消に向けた事業の状況や課題の取りまとめを行うとともに、狭あい道路の解消に向けた提案を行っております。

各研究における具体的なテーマ設定、研究対象とする問題や課題の設定、論展開、結論付けや提言等につきましては、各研究員の独自性や自由な発想を尊重して取りまとめました。

その結果として、この度、研究員から土地家屋調査士が対峙する様々な課題について多くの提言、示唆をいただき、意義ある報告として取りまとめることができました。土地家屋調査士及びこの業界の今後のあるべき姿、新しいビジネスモデルの実現や課題解決に向け、共に考えるきっかけとなれば幸いです。

最後に、今期の研究に携わっていただきました研究員、役員の皆様に、この場を借りて深く感謝申し上げます。

令和7年5月

※1 日本土地家屋調査士会連合会会則施行規則及び同連合会研究所規則の一部改正(令和7年4月1日施行)により、報告日現在は、土地家屋調査士総合研究所規則が施行され、その名称も変更されていますが、同規則の附則の経過措置により、令和5～6年度研究員は従前の例によるものとしています。

※2 連合会会報令和6年10月号から令和6年12月号、令和7年2月号に掲載

※3 本研究報告書については、土地家屋調査士会員の利便に供することを目的としているため、当該報告書を研修教材、会議資料等として利用したい場合は、連合会事務局(総研担当)までご連絡ください。

また、当該報告書の内容等に係るお問い合わせは、直接当該研究員へお尋ねください。

※4 1 表示登記制度に関する研究

2 土地家屋調査士制度に関する研究

3 土地家屋調査士業務に関する研究

(1) 土地家屋調査士法第25条第2項に関する研究

(2) 最新技術に関する研究

4 会長から付託された事項の研究

(1) 狭あい道路に関する研究

広報員後記

広報員後記に寄せて

2年間の任期を終える広報員の皆様、誠にありがとうございました。
皆様には、会報誌の取材・編集、連載や特集の企画立案、さらには制度広報イベントへの積極的な参加など、多方面にわたり本会の広報活動を力強く支えていただきました。
読者の皆様に日調連の情報をお届けできたのも、広報員の皆様の活動の賜物です。
広報員の皆様のご尽力に深く感謝申し上げるとともに、今後のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

読者の皆様へ

任期満了にあたり、広報員の皆様から寄せられた2年間の活動を振り返ってのメッセージをぜひご一読ください。
広報部次長 中山敬一(兵庫会)

「広報員の任期を終えて」

日調連の広報員を拝命してから、早8年が経ちました。振り返ってみると、8年間で30件ほどの原稿を書いてきました。シンポジウム等に取材に伺い、一週間程度で原稿の構成及び素案をまとめ、次の一週間で長くなった文章を簡潔にまとめ、最後に一言所感を添えて原稿を提出しました。

生成AIの利用が促進されている昨今、取材によっては、当職もAI内蔵のボイスレコーダーを利用し始めました。とても便利で参考にはなるものの、最終的な原稿の起案自体は、自身で思い描いた構成及び文案で原稿を作成してまいりました。

シンポジウム等の会場が遠方などの理由により参加できなかった全国の土地家屋調査士の皆さまに向けて原稿を書いてきたつもりですが、その内容が一部でも伝わっていたら幸いです。最後に、取材等でお世話になった皆さま、ありがとうございました。またどこかでお会いした際は、どうぞよろしくお願いいたします。

広報員 石瀬正毅(東京会)

「2年間の広報員の任期を通じて」

令和5年からの2年間、広報員として活動させていただきました。任期を通じて取材にご協力いただきました皆様に心より感謝申し上げます。

連合会活動に関わる記事としては、全国会長会議の記事を2回作成いたしました。連合会の運営を間近で感じることができましたことは、今後の貴重な経験となりました。また、広報員であったからこそ出会えた全国の広報員の方々をはじめとする多くの方々との出会いや、様々な場所を訪れる機会に恵まれましたことにも深く感謝申し上げます。

記事作成にあたっては、文章読本などを読み、「書く」技術の向上に努めました。全国の土地家屋調査士会会報誌を拝読し、会員の皆様が執筆された素晴らしい文章に感銘を受けながら、日頃から書くための準備をすることが大切であると分かりました。

会報誌が紙面で発行されることは、広告掲載による広告費収入にも支えられ、対外的な広報活動の一端を担っており、直接手元に届く有益性は代えがたいものと感じました。今後の会報誌のさらなる発展を心よりお祈り申し上げます。

広報員 北條誠治(長野会)

「2年間広報員を担当して」

広報員の2年間で、外部への取材を3回、内部の取材を1回させていただきました。取材先は、普段自分ではなかなか参加しないイベント等もあったので、良い経験をさせていただきました。肝心の記事ですが、元々文章の作成は得意ではありませんでしたが、都度、試行錯誤し何とか作成してきました。ですが、正直2年間で大して上達したとは思えません。この2年間、広報部の理事の皆さん、全国の広報員の皆さんと知り合え、話せたことが何よりの財産だと思います。各土地家屋調査士会でも活躍されている方ばかりの中で、一人大したことない私でしたが、皆さん本当に良い人だったので、何とかやってこれたと思います。会議では、企画の立案やアイデアの豊富さ等、勉強させていただくことばかりでした。また、毎月送られてくる各会の会報誌も普段見ることがないので、こちらも大変参考になりました。2年間学ばせていただくことばかりでしたが、学ばせていただいたことを、まずは所属する土地家屋調査士会で生かせればと思います。理事の皆様、広報員の皆様、2年間本当にありがとうございました。またどこかでお会いできることを楽しみにしています。最後に、私をブロック代表として推薦していただき近畿ブロックの皆様、ありがとうございました。

広報員 玉置直矢(大阪会)

「広報員を終えて」

日本土地家屋調査士会連合会の広報員として活動させていただき、全国から参加されている土地家屋調査士の皆さんと交流ができ、大変貴重な時間を過ごさせてもらいました。

中部ブロック担当ということで、ブロック内の行事などにも参加することにより、これまで知らなかったこと、興味を持っていなかった分野にも触れることで、経験を積むことができました。

少し残念だったことは、基本Zoom会議だったので、委員会の構成メンバーと会うことが叶わないまま、任期が終わってしまったことです。参集での会議も計画していただいていたのですが、個人的な所用で参加できず、委員会メンバーと直接会うことができなくて、とても残念でした。どこかでお会いできるのを楽しみにしております。

広報員 中島健太(愛知会)

「広報員活動を通じて」

中国ブロックから広報員に就任してあっという間の2年間でした。日調連広報部員・各ブロック広報員の皆様と初めてお会いしたのが最近のように思えます。

会報に載せるための取材や記事の作成は、確かに貴重な経験でしたが、なにより広報員の活動を通じて一番感じたのは、会報に携わる皆様の意識の高さでした。会報の作成にあたって、全国の会員の皆様にどのような記事を掲載すれば楽しくまた有意義に読んでもらえるだろうかということを真剣に取り組んでいる様子を、中山編集長をはじめ皆様からひしひしと会議で感じることができました。また、所属土地家屋調査士会以外の広報員の皆様にお会いし、話す機会があったことも大変貴重な経験でした。広報員の任期が終わった後、皆様とお会いする機会がなくなるのが少し寂しい気もします。全国の会員の皆様に一つ申し上げたいのが、何か日調連の活動に参加できる機会があれば、積極的に参加してみてくださいということです。きっと土地家屋調査士としての視野が広がるでしょう。

最後に、日調連広報部の皆様また各ブロックの広報員の皆様、2年間ありがとうございました。

広報員 竹内聖哲(広島会)

「広報員ライフ、かけがえのない出会いに感謝！」

この度、日本土地家屋調査士会連合会の広報員という大役を無事に務め終えることができました。振り返ればこの2年間は、私にとって本当にかけがえのない、そして忘れられない時間となりました。

特に心に深く刻まれているのは、全国各地から集まる広報員や連合会理事の皆様との出会いです。最初は幾分緊張もありましたが、年に一度、実際に顔を合わせて行う会報編集会議は、私にとって大変貴重な機会でした。また、それ以外のオンライン会議でも、時には和やかに笑い、時には真剣な眼差しで議論を交わしながら、一つの記事、一つの会報誌を共に作り上げていく過程は、非常に充実した時間であり、大きな喜びを感じました。直接お会いする機会は限られていても、画面の向こうに「志を同じくする仲間」がいるという温かい実感は、広報員としての活動を続ける上で、私にとって大きな心の支えとなりました。この巡り合わせには心から感謝しております。

加えて、様々な研修会やシンポジウムといった現場に足を運び、取材させていただく中で、土地家屋調査士という仕事がどれほど社会に貢献しているか、その奥深さと重要性を肌で感じる事ができました。記事として皆様にお届けするために、必死にメモを取り、言葉を紡ぐ作業は決して楽ではありませんでした。その分、一つ一つの情報が自分の血肉となり、職能への理解と愛着を一層深めることができました。

この2年間、広報員として経験させていただいたこと全てが、私の今後の人生にとって大きな糧となることは間違いありません。至らない点も多々あったかと思いますが、温かく見守り、支え、共に汗を流してくださった全国の広報員の皆様、連合会理事・事務局の皆様、そして惜しみないご協力をいただいたすべての方々に、この場を借りて心よりお礼申し上げます。

広報員として得た貴重な経験と、何よりも大切な「人との出会い」を胸に、今後も土地家屋調査士として、地域社会のために微力ながら貢献できるよう、一層精進して参ります。改めて、皆様に心より感謝申し上げます。

広報員 福原義隆(沖縄会)

「広報員を経験して」

東北ブロックの広報員を拝命し、2年の任期を終える中で、多くの貴重な経験を得ることができました。広報の仕事は、単なる情報発信ではなく、土地家屋調査士の活動を広く知ってもらうための重要な役割を担っていることを実感できたことは大きな学びとなりました。

現地取材を通じて、取材先の方々の協力を得ながら、土地家屋調査士の業務の奥深さや社会的な役割について、改めて理解を深めることができました。定時総会をはじめ、数々の場に参加させていただき、業界の最新情報を学びつつ、それを分かりやすく記事にまとめる作業は決して簡単ではありませんでしたが、その過程で得られた知識や見識は、広報員としてだけでなく、土地家屋調査士としての視野を広げる貴重な財産となりました。全国の広報員の皆さんとも意見交換を重ね、広報の在り方について議論できたことは、とても貴重な経験です。

また、広報活動を通じて、業界の課題にも直面しました。土地家屋調査士試験の受験者数減少が続く中、若い世代に魅力を伝える広報の在り方を考える機会が増えました。これからの広報活動には、伝統的な手法だけでなく、新しいメディアを活用した柔軟な発信が求められることを強く感じています。

決して楽なものではありませんでしたが、多くの人と協力しながら進めていくことで、土地家屋調査士としての新たな視点を得ることができました。次の広報員の方々が、より効果的で魅力的な広報活動を展開されることを願っております。

今後も土地家屋調査士の活動が広く認知され、業界の発展につながるよう、引き続き支援していきたいと思っております。最後に、取材にご協力いただいた皆様、広報部、広報員、事務局の皆様、そして読者の皆様に心より感謝申し上げます。

広報員 我妻論(宮城会)

「広報員を振り返って」

この度、四国ブロックの広報員の任期が無事に終わることができました。全国から集まられた広報員の皆様、そして、連合会広報部の皆様と交流することができたことが一番の思い出であり、私の財産です。

人見知りのため、皆様と仲良くしていただけると心配でしたが、やはり同じ土地家屋調査士、共通の話題が多く、根は真面目なところが一緒でした。皆様は企画立案能力が素晴らしく、私はこれといった活躍はできませんでしたが、皆様との会議を通していろいろなことを学ばせていただき、今後の業務、自分の人生に活かしていきたいと思います。

広報員 毛利潤也(愛媛会)



広報キャラクター「地識くん」
ちしき

連合会長

岡田潤一郎の水道橋通信



5月16日
～6月18日

都内の道路には「〇〇通り」といった名前が付いた道路だけである。水道橋辺りにも大きな道では「外堀通り」「白山通り」「靖国通り」なる道路が走っている。少し路地に入っても「三崎神社通り」とか「猿楽通り」といった看板が立っている。ちなみに土地家屋調査士会館前の道路は「錦華通り」だ。大学の名前が付いた通りも多くて「明大通り」「専大通り」「大妻通り」も千代田区内だ。連合会総会を開催する東京ドームホテルに行くには、「白山通り」と「外堀通り」を横断することが必要だが、縁起の良さそうな「出世不動通り」も通って向かうと、なんだか良い予感もする。

5月

16日 沖縄会 第61回定時総会

令和7年の土地家屋調査士会総会への出席は、沖縄会が最初となり、東京から那覇空港に向かう。那覇地方法務局におけるオンライン登記申請率は85.1%で全国1位らしく、地方法務局長から協力への感謝のご挨拶をいただいた。

17日 福井会 令和7年度定時総会

那覇空港発7時20分発の福岡行きの飛行機に搭乗し、小松空港を経由の後、北陸新幹線を乗り継いで15時過ぎには福井会の総会会場に到着。無事に祝辞を述べさせていただき、会員の皆さんとの情報交換もさせていただいた。

21日 宮城会 第75回定時総会

この日は、宮城会の定時総会に出席。旧知の皆さんにお会いするとともに、若手の皆さんとの意見交換も行うことができたので、土地家屋調査士会総会にお邪魔させていただける幸福感に包まれた。

22日 秋田会 令和7年度定時総会

仙台から赤い車両が特徴の秋田新幹線に2時間半ほ

ど乗れば、秋田に到着できる。秋田会の総会に出席し、祝辞を申し上げ、秋田地方法務局の皆さんとも情報の交換をさせていただいた。

23日 大阪会 第87回定時総会式典

秋田から大阪へは、直行便の飛行機が飛んでいる旨を教えてもらい、秋田犬のグッズが一際目に付く秋田空港から伊丹空港へ向かう。大阪会の総会においても、法務局長からの祝辞として、所有者不明土地問題解消のための協力要請と法務局地図作成事業への支援のお願い等をお話しいただいた。

27日 栃木会 令和7年度(第77回)定時総会

栃木会の総会に出席させていただくのは、10年ぶりくらいになると思いながら、宇都宮駅近くの会場に向かう。栃木会が所属する関東ブロックでは、各々の土地家屋調査士会総会に行き来するようで、この日は関東一円から各会会長あるいは副会長が来賓出席されていた。

28日 公益社団法人全国宅地建物取引業協会連合会との打合せ

全宅連の担当者が来訪され、不動産売買時における注意事項等の協議を行う。不動産における現地の明確化に関して、共通言語の必要性をお伝えさせていただくとともに、継続して会合を持つことを提案。

28日 札幌会 令和7年度定時総会

令和7年の土地家屋調査士会総会も終盤を迎えてきた。この日は羽田から空路にて札幌会の総会に出席。北海道は、季節的に平日でも大勢の人で賑わっている印象である。札幌会の総会では、特に若手の会員さんの話を直接、お聞きすることが叶ったところである。

29日 富山会 令和7年度定時総会

札幌から一日一便だけ富山空港行きの飛行機が飛んでいるらしく、大慌てで新千歳空港へ向かう。富山会の総会でも多くの皆さんと意見交換をさせていただき、有意義な時間を過ごすことができた。

30日 東京会 第87回定時総会

例年、土地家屋調査士会総会の大トリは、東京会である。今年も上野・不忍池近くの会場へ向かう。ここでも関東ブロックの各会長の皆さんと共に、来賓としてご挨拶をさせていただいた。

6月

4日 第40回写真コンクール作品審査

今年も写真コンクールに279点の応募をいただき、感謝の気持ちを持って、作品の審査を実施。写真家の大田真三先生のアドバイスをお聞きしながら、慎重かつ公正に実施したところである。

5日 立憲民主党 土地家屋調査士制度推進議員連盟総会

日頃から、土地家屋調査士制度を応援いただいている立憲民主党所属の先生方に「予算・政策要望」をさせていただくとともに、多角的な観点から現状報告と意見交換をさせていただいた。

7日 日本土地家屋調査士会連合会九州ブロック協議会令和7年度定時総会

本年の九州ブロック協議会総会は、鹿児島市で開催され、祝辞を述べさせていただいた。「九州は一つ！」を合言葉に大いに盛り上がりを見せて、明るい未来の予感が漂う総会であった。

8日 関東ブロック協議会第71回定例総会

早朝、鹿児島を出発し、伊丹で飛行機を乗り継ぐと、お昼過ぎには新潟駅に到着できる。つくづく、日本

の交通網の発達に脱帽しながら、関東ブロック協議会の総会に出席し、お祝いを申し述べた。

10日 第3回正副会長会議

翌週に迫った連合会総会に対応するため、正副会長会議を招集し、準備状況の確認と議案等の整理を実施。

16日 第2回常任理事会

現行メンバーでの最後の常任理事会に臨む。翌日からの総会への対応と、次期役員へ引継ぐ事項の確認等を行う。

16、17日 第82回定時総会議事運営等の打合せ

連合会総会を開催するに当たり、綿密な進行予定を元に、役員の動線も含めて確認する。任期の集大成を迎える気分は、「ドキドキ」と「ワクワク」が入り混じった、独特な感覚を体感できる。

17、18日 第82回定時総会

本年の定時総会は、役員改選期である上に、議案も盛りだくさんで大いに緊張したが、全国から参集いただいた各会会長と代議員の皆さんの協力のおかげで、全ての議案を承認いただき、制度の新時代を拓く一歩を踏み出すこととなった。誠にありがとうございました。

5月**20日**

○第1回広報部会(電子会議)

<協議事項>

- 1 令和6年度事業の総括について
- 2 ウェブコンテンツの作成について
- 3 こども霞が関見学デーへの対応について
- 4 広報ツールの作成又は活用について
- 5 「土地家屋調査士の日」に関する啓発活動について
- 6 受験者の拡大に向けた活動について
- 7 全国広報担当者会同について
- 8 6月号の編集状況について
- 9 7月号以降の掲載記事について
- 10 会報4月号に掲載した会報に関するアンケートについて
- 11 令和8年度発行の会報印刷業者の入札について
- 12 次期広報部役員への引継事項について

6月**4、5日**

○第1回総務部会

<協議事項>

- 1 土地家屋調査士職務倫理規程の解説(案)について

- 2 商標利用に関する対応について
- 3 戸籍謄本・住民票の写し等職務上請求書の誓約書の変更への対応について
- 4 土地家屋調査士検索について
- 5 例規管理業務支援ソフトの導入について
- 6 専門的業務賠償責任保険の対象者の見直しについて
- 7 カスタマーハラスメントへの対応について
- 8 日本土地家屋調査士会連合会職員等育児・介護休業等に関する規則の一部改正(案)について
- 9 第82回定時総会の対応について
- 10 第83回(令和8年度)定時総会の日程及び会場について
- 11 次期総務部への引継事項について
- 12 定時総会で配布する年計報告書集計表について

10日

○第3回正副会長会議

<協議事項>

- 1 質問・要望等の対応について
- 2 第82回定時総会及び懇親会における進行及び来賓応対等について

発信文書の詳細につきましては、所属の土地家屋調査士会へお問合せください。

月日	標 題
5月16日	第75回“社会を明るくする運動”～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～に対する協力について(連絡)
5月16日	土地家屋調査士専門職能継続学習運営細則及び土地家屋調査士専門職能継続学習の情報公開に関する細則の一部改正について(通知)
5月22日	鹿児島地方法務局屋久島出張所の廃止について(依頼)
5月23日	GNSS観測であるネットワーク型RTK法のコンテンツの公開について(お知らせ)
5月26日	土地家屋調査士会戸籍謄本・住民票の写し等職務上請求書取扱管理規程(モデル)の一部改正について(通知)
5月27日	第82回定時総会議案書・同資料の送付について(各会)
5月29日	都市再生街区基本調査による街区基準点の活用について(お知らせ)
5月30日	令和7年度土地家屋調査士新人研修の受講料変更について(お知らせ)
5月30日	令和7年度国有農地等測量・境界確定促進委託事業について(お知らせ)
6月2日	令和7年度土地家屋調査士新人研修(東京会場)の受講申込者数の状況について(お知らせ)
6月2日	法務局地図作成事業に係る情報の分析について
6月2日	土地家屋調査士PRパンフレット等デザイン(データ)の送付について
6月6日	職務上請求(郵送分)へのクレジット決済の導入について(参考送付)
6月9日	連合会が頒布する職務上請求書綴込帳における誓約書の変更について(通知)
6月10日	「経済財政運営と改革の基本方針2025(原案)」の公表について(お知らせ)
6月10日	令和6年度第2回全国会長会議会議録の送付について
6月10日	令和5年度～令和6年度研究所研究報告書の公開について(連絡)
6月11日	マイナンバーカード活用等に向けた積極的な周知への協力方について(依頼)
6月11日	令和7年度第1回理事会議事録
6月13日	「経済財政運営と改革の基本方針2025」(いわゆる骨太の方針2025)の公表について(お知らせ)

土地家屋調査士名簿の登録関係

土地家屋調査士法(昭和25年法律第228号)第18条の規定により土地家屋調査士名簿に登録をした者、登録の取消しをした者及びADR認定土地家屋調査士の登録をした者を次のとおり掲載する。

登録

令和7年5月1日付け

東京	8422	沖本	剛志
東京	8423	小暮	誠
東京	8424	山田	龍太郎
千葉	2297	萩原	百栄
茨城	1522	長谷川	貴一
静岡	1890	渡邊	秀人
長野	2648	林	克行
長野	2649	横内	慶
新潟	2256	豊島	永祥
大阪	3490	河野	太陽
大阪	3491	洲鎌	士郎
大阪	3492	山田	浩之
大阪	3493	辻	翔太
大阪	3494	嶋田	和義
兵庫	2593	堀	晋也
兵庫	2594	舟木	陵二
兵庫	2595	朴	龍一
兵庫	2596	男武	真弓
兵庫	2597	水上	良洋
兵庫	2598	荒牧	春稀
兵庫	2599	番匠	岳大
滋賀	492	米倉	靖人
愛知	3172	佐藤	成悟
石川	699	辰村	勇輔
富山	561	大波加	明道
福岡	2471	江藤	昭人
福岡	2472	土山	淳司
佐賀	571	宮永	晶司
大分	868	穴井	慎一郎
沖縄	541	宮里	保崇
沖縄	542	知念	大志朗
福島	1535	檜村	雄大
福島	1536	鈴木	達也
福島	1537	小野	崇
札幌	1260	平澤	孝介

令和7年5月12日付け

神奈川	3264	川村	果緒
埼玉	2837	菅井	日向
埼玉	2838	長谷	勇斗
千葉	2298	野田	治夫

群馬	1113	岩田	翔
愛知	3173	春木	宣幸
岐阜	1339	渡邊	周吾
札幌	1261	松田	範行
札幌	1262	星	秀幸

令和7年5月20日付け

東京	8425	生駒	智一
東京	8426	江原	慶
東京	8427	堀川	努
東京	8428	山崎	翔太
神奈川	3265	植松	太
神奈川	3266	佐々木	悠太
埼玉	2839	長谷川	七海
愛知	3174	足立	謙一
愛知	3175	岡田	学
愛知	3176	辛島	辰哉
愛知	3177	米田	真唯
鳥取	489	黒見	誠
宮城	1096	小関	亨

登録取消し

令和7年2月1日付け

愛知	2017	本村	成夫
----	------	----	----

令和7年3月13日付け

兵庫	1450	江尻	節子
----	------	----	----

令和7年3月15日付け

新潟	2042	酒井	恒喜
----	------	----	----

令和7年3月21日付け

福井	345	小川	浩之
----	-----	----	----

令和7年3月30日付け

奈良	312	古久保	隆司
----	-----	-----	----

令和7年4月6日付け

愛媛	755	畠尾	栄遵
----	-----	----	----

令和7年4月24日付け

静岡	1158	杉山	忠一
----	------	----	----

令和7年5月1日付け

大阪	2249	佐藤	均
----	------	----	---

兵庫	1356	八木	良一
奈良	148	宮崎	正之
福岡	1811	大原	敏明
沖縄	245	新城	安雄

令和7年5月12日付け

神奈川	1809	青木	茂和
神奈川	3122	飯田	行雄
茨城	804	平岡	正親
静岡	1166	小林	高志
大阪	1805	中西	統
大阪	3331	漆原	一登
広島	1397	田村	龍彦
島根	377	原	正義
愛媛	761	川原	周次

令和7年5月20日付け

東京	6694	高妻	昭子
埼玉	2591	熊谷	一美
広島	1867	深井	完次
福岡	2020	北崎	健太郎

ADR認定土地家屋調査士の登録

令和7年5月1日付け

静岡	1866	坪内	基晃
長野	2596	渡邊	温美
長野	2623	日比	雅也
兵庫	2405	中西	隆博
兵庫	2569	濱村	吉昭
兵庫	2578	尾上	裕行
兵庫	2596	男武	真弓
富山	548	堀	英樹
広島	1934	松浦	雄三
広島	1940	山口	正展
広島	1942	城楽	唯人
広島	1944	木村	洋輔
広島	1945	太田	勇一
広島	1946	磯邊	悠太
福岡	2365	石矢	純
長崎	819	宇土	郁哉
福島	1535	檜村	雄大

札幌	1200	浜地	宏一
令和7年5月12日付け			
埼玉	2800	田村	和也
千葉	2267	藤野	航平
群馬	1026	藤川	八潮
静岡	1864	久嶋	章弘

長野	2609	中村	雅也
兵庫	2427	平塚	勇太
兵庫	2523	草ヶ谷	岳男
宮崎	816	宮田	紘意
宮崎	829	松崎	伸哉
宮崎	830	堀	純平

令和7年5月20日付け			
栃木	961	福富	義雄
群馬	1029	桜井	信雄
京都	959	山面	拓
広島	1919	岡野	隼也
宮城	1096	小関	亨



筆界をあきらかに、未来をすこやかに。
日本土地家屋調査士会連合会
 Japan Federation of Land and House Investigators' Associations

日本土地家屋調査士会連合会 業務支援システム 調査士カルテMap

事前調査の 業務効率化

現地調査前に
必要な地図がこれ一つで



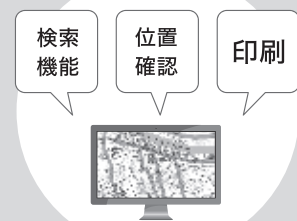
PC やタブレットでいつでも確認でき、
資料集め・事前調査で活用できます。
紙の地図帳とは異なり、ページの境や
市町村境も簡単に確認できます。
(住宅地図・ブルーマップは全国閲覧可能)

複製許諾付きの
地図印刷ができる



対象範囲を指定の縮尺で設定し、
簡単に地図資料を作成できます。
地図には複製許諾証がついており、
案内図配布や登記申請の添付資料として利用できます。

業務で便利な
機能搭載



シーンに応じたさまざまな検索、
SIMAデータを取り込んで基準点
等の位置確認、距離や土地の簡
易計測など、便利な機能を多く
搭載しています。

調査情報を地図上で 一元管理



地図上の位置と調査情報を紐づけ

調査情報・関連書類を地図上に登録し、事件簿の
一元管理が可能。登録情報は CSV 出力もでき、
年計表作成にも活用できます。

調査情報共有で 調査士どうしの連携強化

情報登録／情報管理

情報共有



- 事件簿情報・調査ファイルの中身など、秘匿性の高い情報は公開されません。
- 基本情報・その他所有情報などが共有されます。

新機能追加について

- 現在・過去年度別の空中写真を確認できるようになり、土地の変遷を用意に確認できます。
- 等高線レイヤが常時表示でき、現場の傾斜を事前に確認できます。……他にも便利な機能を同時追加！

全国閲覧可 月額 **3,960円** (税込)

お申し込み月の月末まで**無料期間**をご用意しております

＜無料で利用できる期間をご活用ください！＞

詳細・お申し込みは、日本土地家屋調査士会連合会 Web サイトをご確認ください

日本土地家屋調査士会連合会



＜連合会 HP 右下の
こちらのボタンをクリック＞



【お問合せ】

日本土地家屋調査士会連合会
「調査士カルテ Map」 問合せ窓口
(E-mail) kartemap@chosashi.or.jp

令和8年度 明海大学不動産学部総合型選抜(企業推薦)のご案内

明海大学不動産学部は、日本土地家屋調査士会連合会(日調連)との協定に基づき、団体会員の子弟及び関係先の子弟等を毎年受け入れています。不動産関連業界の人材育成・後継者養成のため、明海大学不動産学部の総合型選抜(企業推薦)の活用をご検討ください。

出願要領

◎**出願条件**：出願資格(詳細は入試要項をご確認ください。)のいずれかに該当し、かつ出願条件(ア)及び(イ)を満たす者

(ア) 明海大学不動産学部不動産学科での勉学を強く希望し、第一志望として入学を志し、合格後の入学を確約できる者

(イ) 日本土地家屋調査士会連合会(日調連)から推薦を受けられる者

推薦条件：土地家屋調査士を志望し、大学卒業後に土地家屋調査士業務に従事することを希望する者

◎**試験科目**：小論文及び面接 ※小論文、面接及び提出書類等の評価を総合的に判定し、可否を決定します。

◎**願書受付期間等**

A日程 (1) 願書受付期間…2025年11月1日(土)～11月12日(水)(出願書類提出は日調連宛・郵送必着)

(2) 試験日…2025年11月23日(日) (3) 合格発表日…2025年12月1日(月)

B日程 (1) 願書受付期間…2026年2月23日(月)～3月3日(火)(出願書類提出は日調連宛・郵送必着)

(2) 試験日…2026年3月14日(土) (3) 合格発表日…2026年3月17日(火)

※募集人員は20名(A・B日程合計)です。

出願をご希望の方 まずは入試要項をお取り寄せください！ 詳細をご確認ください。

入試要項のお取り寄せ・お問合せは 日本土地家屋調査士会連合会(日調連)

又は 明海大学浦安キャンパス 入試事務室 047-355-5116 (直)

明海大学 浦安キャンパス OPEN CAMPUS 2025

7/27(日)、8/2(土)、8/17(日)、8/31(日)、10/5(日)、11/30(日) ※要予約

◎当日は、個別進路相談やキャンパスツアー、学科魅力発見コーナーなどにご参加いただけます。

詳細・予約については、本学公式ホームページ(<https://www.meikai.ac.jp>)をご覧ください。

※プログラムの内容などは変更する場合があります。

本学公式ホームページではオンライン平日相談会も受付中！ホームページにて詳細をご確認の上、お気軽にお申し込みください。

以上



研修管理システム

「manaable(マナブル)」の利用登録



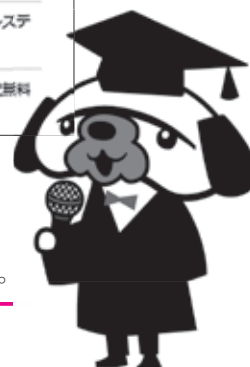
日本土地家屋調査士会連合会では、令和6年10月22日から研修管理システム「manaable（マナブル）」を導入しています。研修受講申込・受講管理・eラーニング視聴等に必要となりますので利用登録をお願いします。

manaableの利用登録は、下記のURL（当連合会ウェブサイト）へ移動していただき、manaableのアイコンから登録できます。

<https://www.chosashi.or.jp/activities/training/>

また、次ページの二次元バーコードからも登録可能です。

こちらのアイコンをクリックし、
新規登録から利用登録してください。



3 つのステップだけで登録完了！

ステップ 1

会員の方は、ご自身のメールアドレスと、ご自身の所属会の選択と、登録番号をご入力いただき、会員情報と合致したら会員としてログインすることができます。
会員以外の方は、ご自身のメールアドレスのみでログインが可能です。

⚠ 同じメールアドレスでの登録はできません。

⚠ 携帯キャリアメール(docomo / softbank / ezweb など)での登録はセキュリティ設定によりメールが届かない可能性がありますのでご注意ください。



会員の方

manaable

登録用メールアドレス

照合情報

所属会

登録番号

送信

新規登録

会員 会員以外

会員以外の方

manaable

登録用メールアドレス

送信

ステップ 2



日本土地家屋調査士会連合会 <no-reply@manaable.com>
To info@senda

メールに届いたピンク枠のリンクをクリックして、
本登録手続きの画面に遷移します。

「本登録手続き」のご依頼をいただき、ありがとうございます。

⚠ 本登録手続きのリンクは有効期限が24時間になっています。

下記のリンクから本登録手続きをお願いします。

https://chosashi.manaable.com/signupform?type=ORG&token=96b3216d48e42d5e801b9f3d820d321a&email=info%2Bsenda%40manaable.com&member_id=46f3405f-b71c-49a9-b05c-491549b677b3

※リンクの期限が切れている場合は再度本登録手続きをお願いします。

※本メールにお心あたりのない場合は、お手数ですが本メールを破棄してください。情報は登録されませんのでご安心ください。

※本メールへのご返信はできませんので、ご了承ください。

日本土地家屋調査士会連合会

ステップ 3

本登録画面で 登録するだけで完了！

manaable

お名前

姓 名

生年月日

所属会

所属会

本登録画面で補足の情報やパスワードを入力するだけで、
登録が完了して、研修に申込みができるようになります。
その後は同じご自身のお名前等を入力する必要がありません。

manaable

〇〇研修

申込

△△研修

申込

ち ょ う さ し 俳 壇

第482回



「地下涼し」

深谷 健吾

地下涼し列を正してワイン樽
下闇につづく旧家の三和土かな
螢火や一切見せぬ胸の内
岩陰の山女釣人動かさる

当季雑詠

深谷 健吾 選

茨城 島田 操

新聞と団扇置かるる指定席
突き抜けて一途に空を今年竹
儂さや妻亡き居間の蠅叩き
悠々と田の面を泳ぐ鯉幟

茨城 中原 ひそむ

行く春や駄句三昧に恙なし
大正に生れて令和や杖の秋
海峡を渡る銀河や波光る
雲影を走らせダム湖秋澄めり

岐阜 堀越 貞有

逃げ回る「蒙古斑」へと天瓜粉
噴水やうなじの濡るる女神像
浅草や女どうしで泥鰌鍋
磨崖仏仰ぐそびらに入道雲

兵庫 小林 昌三

隣より薔薇の香りを貰ひけり
山裾の木々の間に間に藤の花

山口 久保真珠美

魚捕りする兄弟や風光る
花は葉に父の記念樹訪ねけり

今月の作品から

深谷 健吾

悠々と田の面を泳ぐ鯉幟

島田 操

「鯉幟」は、夏の季語。出世魚である鯉を型どった幟を端午の節句に、子の成長を祝いたてる。真鯉、緋鯉を一對にしたものが多い。早場米産地では、子供の日の頃には田に水を張り田植えが始まる。水田に囲まれた大農家では、時期を一にして邸内に鯉幟を立てて、子の成長を祝うと聞く。提句は、田の一面を泳ぐ鯉幟の光景を活写した佳句である。

中原 ひそむ

雲影を走らせダム湖秋澄めり

「秋澄む」は、秋の季語。秋になって大気が澄みきること。大陸から乾燥した冷たく新鮮な空気が流れ込むため、ものみな美しく見え、鳥の声、物音もよく響くように感じられる。高々と晴れ上がった空に浮かぶ白い雲は、いかにも秋らしい爽やかさを感じさせる。平明な言葉でダム湖の秋の光景を詠み切った素晴らしい一句である。

堀越 貞有

逃げ回る「蒙古斑」へと天瓜粉

「天瓜粉」とは、夏の季語。黄鳥瓜の根から製した白色の澱粉で白色のこまかい粉末。子供らの汗疹を防ぐのに用いる。現今は、亜鉛華に澱粉を加えて製したものが多く、市販のベビーパウダーはその類である。

「蒙古斑」とは小児の臀部・腰部・背部などの皮膚にある青色の斑紋。今ではめずらしいが昔は風呂から上がった汗疹の子に天瓜粉を塗布した。「逃げ回る」のフレーズにより俳諧味のある楽しい一句となった。

小林 昌三

隣より薔薇の香りを貰ひけり

「薔薇」は、夏の季語。薔薇は、その姿と香りで広く愛賞され品種も多い。多くは夏を花期とするが春秋に開くもの、また四季咲きもある。隣の人は、薔薇造りが趣味とか。薔薇の咲く時期になるとお福分けの如くお隣さん家より薔薇の香りが我が家へ。昔から言い伝わる「向こう三軒両隣」を「お互いに親しく」と読み替え、句材として詠み込んだ見事な家庭俳句である。

久保真珠美

魚捕りする兄弟や風光る

「風光る」は、春の季語。春になって段々日光が強くなり、そよそよと軟風が吹きわたると、何となく鋭く光るように感ぜられる。その昔、男女を問わず田舎では、川辺での魚捕りや魚釣りは、子供たちの春の風物詩であった。兄弟で仲良く魚捕りとは懐かしく、懐古の念を抱く。「魚捕り」と季語の「風光る」との取り合わせを平明な言葉で詠み込んだ佳句である。

地名散歩

第161回 シートートムシメヌ山からテクノパークまで…音引きの地名

一般財団法人日本地図センター客員研究員 今尾 恵介

最近ではプリンターを「プリンタ」、プログラマーを「プログラマ」という風に音引き(長音符「ー」)を用いない表記が目立つ。具体的には英語由来の単語のうち、アクセントのない「er」の部分の音引きをやめようという動きらしいが、個人的には少々違和感もある。

この長音符は、縦書きなら縦棒、横書きであれば横棒と方向を転じるが、日本人は無意識的に使っていても、外国人には当たり前ではない。出版社に勤めていた頃、ある韓国人音楽家から日本語でお礼状をいただいた封書の宛先を見て驚いた。会社のマンション名が横書きなのに「」となっていたからである。私が渡した縦書きの名刺をそのまま横書きしたのだろう。私は、そこで初めて、縦横で自在に変身するこの記号の特殊性に気づいた次第である。もちろん「わ〜い嬉しい♡」の「〜」

も同様だ。

地名にも音引き入りはある。もちろん漢字のみで構成された地名には用いられないので、ひらがな・カタカナ地名に限られるが、音引き発生率は低いながら、『角川日本地名大辞典』DVD-ROM版で音引き入りの地名を検索してみたら結構ヒットした。どんな場所に多いかといえば、歴史的地名では北海道と沖縄県。その他は戦後の新しい地名である。

まずは北海道であるが、周知のとおりアイヌ語由来の地名が多い。札幌や帯広、釧路、稚内など漢字表記の地名はともかく、今でも市町村の下の大文字・小文字レベルの居住地名や自然地名にはカタカナ表記が少なくない。

音引きが2つもある自然地名をたまたま見つけたのが、道北のシートートムシメヌ山である。名寄市^{なよろ}の中心から西へ約30km、日本



北海道幌延町のパンケオートヌオマップ川。右下にはベンケオートヌオマップ川も見え。宗谷本線の両駅はすでに廃止された。1:50,000「雄信内」平成6年(1994)要部修正



西表島北海岸にある音引きカタカナ表記のクエラ川とケーダ川(ゲータは誤り)。クエラは漢字表記すれば「小浦」となる。1:50,000「西表島東北部」平成4年(1992)修正

海側の初山^{しよさんべつ}別村からだと東へ27kmという天塩山地の奥深くだ。この長いカタカナ山名の由来は、『角川』など手元の地名辞典には載っていない。知里真志保^{ちりましほ}さんの『地名アイヌ語小辞典』によれば、この山のエリアである名寄で「tù-tom-us-pe」(トゥートムシペ=尾根の上に更にぽこっと出ている山)とあるから、シー(大きい)を足せば「シートゥートムシペ」となり、だいぶ似通ってくる。「大ポッコリ山」といったところだ。しかし、末尾が「…シメヌ」なのは謎だ。明治期の地図には「…シメヌブリ」とあるそうで、末尾が欠落した説もあるが、私のアイヌ語の知識ではこれ以上の詮索はできない。

そこから80kmほど北の幌延^{ほろのべ}町には、ペンケオートマップ川とパンケオートマップ川が並行して流れている。ペンケは上流側、パンケは下流側であるが、オートマップというのは「自動車地図」のような響きがあって気になる。ところが、少し前の地形図を確認したところ、オートマップ川ではなく、オートヌオマップ川と「ヌオ」が挟まっているではないか。

これも地名辞典類に載っていなかったが、前出の『地名アイヌ語小辞典』の語を繋ぎ合わせてみたところ、「オタ・ヌ・オマ・プ(砂・持つ・ある・もの)」という解釈が浮かび上がった。いつの間にか地図の表記から「ヌオ」が消えたのは、アイヌ語を知らない日本人にとって表記が長すぎることで、しかもオートマップが発音しやすいこともあってか脱落したように思える。「オベレペレケプ(河口が幾筋にも分かれている川)」が帯広になったようなものだろう。

沖縄の地名も音引きが目立つ。地図で西表島の北海岸を探せば、マーレ川、クーラ川、ゲェダ川(本来はケーダ川)、ホーラ川がある

が、このうち地名辞典の類で漢字表記が載っているのはクーラ川ぐらいで、「小浦」と書いたという。ホーラ川はある文献によれば「平川(ホーラ川)」という表記もあった。なお「ホーラ」そのものが河原を意味するらしい。久米島の南西側にある兼城^{かねぐすく}港内には、精川島^{せいがわじま}という目立つ岩礁があり、『角川』では「ガラサー山」で載っている。ガラサーはカラスで、夕方になるとカラスが数千羽も集まり、ここをねぐらにしたことに由来するそうだ。

沖縄の小地名は、方言読みもあってカタカナ表記されることが多く、どうしても本土から懸絶したイメージを持ってしまう。積極的にルビを振るべきではないかと思うが、もちろん地名の漢字に当て字が多いことは百も承知の上であるが。「カジフチ」と書かれて意味不明でも、「風吹^{かじふち}き」、特に暴風であることを知ると、ずっと親しみが湧いてくる。

新しい音引き地名は、全国に分布する戦後生まれのもの。たとえば、福島県会津若松市インター西(平成7年)、広島市西区商工センター(昭和53年)、盛岡市流通センター北(昭和50年)のような例で、いずれも正式な町名である。実際のインターチェンジや〇〇センターを安易に町名化する神経は理解しにくい。高度成長期後半から目立ち始めた印象だ。その後の流行は「テクノ」が挙げられる。大阪府和泉市テクノステージ(平成11年)、兵庫県三田市^{さんだ}テクノパーク(昭和60年)など、音引きももっぱら英語由来になっていく。カタカナが圧倒的に多い中で、山口県下関市あるかぽーと(平成7年)はひらがな。いずれも再開発や埋め立てで誕生した地域に命名されたものが多いが、どうかほどほどにと願うばかりである。

今尾恵介(いまお・けいすけ)

1959年横浜市生まれ。小中学時代より地形図と時刻表を愛好、現在に至る。明治大学文学部ドイツ文学専攻中退後、音楽出版社勤務を経て1991年よりフリーライターとして地図・地名・鉄道の分野で執筆活動を開始。著書に『ふしぎ地名巡り』(筑摩書房)、『地図の遊び方』(けやき出版)、『番地の謎』(光文社)、『地名の社会学』(角川選書)など多数。2017年に『地図マニア 空想の旅』で斎藤茂太賞、2018年に『地図と鉄道』で交通図書賞を受賞した。現在(一財)日本地図センター客員研究員、日本地図学会「地図と地名」専門部会主査

国民年金基金

基金だより ～掛金所得控除の年内適用期限等について～

全国国民年金基金 土地家屋調査士支部

■基金掛金の所得控除

国民年金基金制度(以下「基金」といいます)の掛金については、税制上の優遇措置として、その全額が社会保険料控除の対象として認められています。

例えば、課税所得金額700万円の方が掛金月額3万円(年額36万円)で加入した場合、加入前の課税額は、 $700\text{万円} \times 33\%$ (所得税・住民税の合算税率) = 231.0万円ですが、基金加入後は掛金額が課税所得から全額控除でき、 $(700\text{万円} - 36\text{万円}) \times 33\% = 219.1\text{万円}$ となり、年間で約12万円の節税となります。また、課税所得金額1千万円の場合には、累進課税となっていますので、約15万5千円の節税となります。

現在、新規加入者の9割以上が、基金の税制上の優遇措置を重視して加入されています。

■社会保険料控除の適用手続き等

社会保険料控除は、本年中に基金に納付した掛金額が対象となります。現在、掛金額の口座引落しは2ヵ月遅れとなっていますので、例えば、7月中旬までに加入手続きをされた場合、7月分(初回分)の掛金引落しは9月となりますが、年度内の複数月分を一括して納付する「一括納付」制度を選択された場合、9月時点で来年3月分までの掛金納付が可能となります。これにより、令和7年は、合計で9か月分を控除対象とすることが出来ます。仮に、掛金月額3万円で加入の場合、 $3\text{万円} \times 9\text{か月} = 27\text{万円}$ が控除対象となります。さらに、社会保険料控除の仕

本年の掛金所得税控除適用を希望する方は、
お早目の加入手続きをお願いいたします！

加入申出書提出期限
令和7年10月15日(水) 必着

組みは、生計を同じくするご家族の掛金を負担した場合、負担した方の課税所得から控除できるメリットもありますので、ご家族の中で所得の多い方が負担した場合、税優遇の効果は大きくなります。

特に、本年の税控除適用を希望される方は、年内の掛金引落が可能で10月15日(水)【必着】までに加入申出書の提出が必要となりますので、お早めのお手続きをお勧めします。

個人事務所の国民年金加入者(第1号被保険者)の方で、基金未加入の方は、不確実な将来への備えとして、税優遇を活かして老後に備える基金の活用について、この機会に是非ご検討をお願いいたします。

■キャンペーン情報(その1)

8月から10月末までに新規加入された場合、クオカード1,000円を進呈する夏季特別加入促進キャンペーンが実施されますので、ご利用ください。

■キャンペーン情報(その2)

加入者の方が、ご家族や知人等をご紹介・ご加入いただいた場合、クオカード1,000円を進呈するキャンペーンを実施中ですので、併せてご利用ください。

国民年金基金のご案内

— 不確実な将来に、今、備える —

税制面のメリット

- 掛金の全額が社会保険料控除の対象
- 受け取る年金は公的年金等控除が適用
- 遺族一時金は全額非課税

ホームページ上でもシミュレーション
加入申出のお手続きができます。



加入資格

- 20歳以上 60歳未満の国民年金の第1号被保険者の方
- 60歳以上 65歳未満で国民年金に任意加入している方

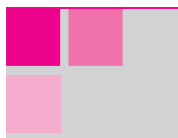


国民年金(老齢基礎年金)に上乗せする
終身を基本とする「公的な年金制度」です。

全国国民年金基金 土地家屋調査士支部

<https://www.zenkoku-kikin.or.jp/>

0120-137-533



総会風景



第40回定時総会及び懇親会、 第1回研修会の開催報告

令和7年6月5日(木)に第40回定時総会及び懇親会を、翌6日(金)に第1回研修会を、ホテルメトロポリタンエドモント「悠久」において開催いたしました。

来賓をお招きして開催された総会セレモニーでは、法務省民事局民事第二課所有者不明土地等対策推進室 室長 清水慶徳様、国土交通省政策統括官付地理空間情報課 課長 矢吹周平様、日本土地家屋調査士会連合会 会長 岡田潤一郎様、全国土地家屋調査士政治連盟 会長 椎名勤様、全国公共嘱託登記司法書士協会協議会 会長 石山彰雄様はじめ多くの来賓の方々からご祝辞を頂戴いたしました。また、総会後は、例年のとおり懇親会を開催し、参議院議員豊田俊郎様からご挨拶を賜りました。

【第40回定時総会】

総会構成員61名(全公連役員12名、各協会理事

長49名)のうち、全公連役員12名、各協会理事長48名の計60名が参加しました。

議事の内容は、以下のとおりです。

- 第1号議案 令和6年度一般会計収入支出決算報告承認の件
- 第2号議案 令和7年度事業計画(案)審議の件
- 第3号議案 令和7年度一般会計収入支出予算(案)審議の件
- 第4号議案 全国公共嘱託登記土地家屋調査士協会連絡協議会会則改正(案)審議の件
- 第5号議案 役員改選の件

慎重審議の結果、上記第1号議案から第5号議案まですべて承認可決されました。

特に、役員改選において、会長は無選挙で続投となりました。堀副会長の開会の挨拶で始まり、最後は伊藤副会長による閉会の辞をもちまして、総会は滞りなく終了いたしました。



榊原会長



法務省清水室長



国交省矢吹課長

【第1回研修会】



吉野講師

6月6日(金) 9時のオリエンテーションから始まり、会長挨拶に続き、講演(1)としまして、大阪本町法律事務所弁護士 吉野孝義先生より「筆界確定訴訟と筆界特定制度—官民境界における諸問題の解決のために」と題してのご講演をいただきました。

全公連としては、土地家屋調査士法の改正が熱望され、その中でも特に64条の改正によって行うこととなる筆界特定申請業務を視野に入れ、吉野弁護士に講演いただいたものです。なお、同弁護士は、任官後裁判所判事、法務局訟務部長を歴任し、大阪地方裁判所長を最後に退官されています。講演では法文上存在しない「筆界確定訴訟」と、これに連動する「筆界特定制度」について、上流側の訴訟制度から法的性質、学説、判例の推移、訴訟要件、証拠調べ、判決と事例を中心にご説明いただき、筆界特定制度との関連についても丁寧な解説をいただきました。本講演を拝聴し、筆界特定申請には非常に大きな奥行と広がりがあることを認識し、法改正の実現が一層急務であると痛感いたしました。

休憩をはさみ、講演(2)では、この度上智大学から国立大学法人筑波大学に栄転された楠茂樹学術顧問に「公共契約制度と公嘱業務」という演題でご講演いただきました。楠教授には今まで数々の講演、著書の発行、また機関誌・広報誌へ



楠講師

の投稿によって、いわゆる公共調達の指針を示していただき、適正な取り組み方についてご教示いただいております。今回は、特に発注者の「(競争入札、随意契約の)説明責任」についてご講演いただきました。驚いたのは巷間でいわゆる「令和の米騒動」が紙面上に登場してから、随意契約というものを初めて知ったという国民がいることなどを考えると、このような状況だからこそ、発注者や国民に対し公共調達(特に随意契約)への一層の理解を促すため、広く市民や議員を対象とした地区研修会を企画・開催する重要性を再認識いたしました。

(副会長 堀次夫)

会議経過

6月5日	第2回理事会(東京開催)
6月5日	第40回定時総会(ホテルメトロポリタンエドモントにて開催)
6月6日午前	第3回理事会(東京開催)
6月6日	第1回研修会(ホテルメトロポリタンエドモントからハイブリッド開催)
6月6日午後	第4回理事会(東京開催)
6月17～18日	日調連第82回定時総会及び懇親会(東京ドームホテル開催)
6月18日	全調政連設置の官民境界PT(東京開催)
6月20日	中部ブロック通常総会(三重開催)
6月25日	全調政連設置の狭あい道路解消PT及び道路内民有地PT(東京開催)
7月5日	全司協第39回定時総会(東京開催)

第19回全国青年土地家屋調査士大会 in HOKKAIDO

参加者募集



青年土地家屋調査士会全国大会、2025年秋は北の大地で！

2025年、土地家屋調査士業界の若手が一堂に会する年に一度のビッグイベント「第19回全国青年土地家屋調査士大会」が、北の大地、北海道札幌市で開催されます。この重要な大会のホストを務めるのが、半世紀以上にわたり若手の育成と交流を支えてきた札幌土地家屋調査士青調会（以下、「札幌青調会」といいます。）です。全国の若き専門家たちが集うこの祭典は、知識を交換し、未来への活力を得るための絶好の機会となります。

若手土地家屋調査士を支える活気あるコミュニティ

札幌青調会は、昭和46年(1971年)の発足以来、札幌土地家屋調査士会に所属する若手土地家屋調査士たちの成長と交流を支え続けてきました。専門性の高いこの業界では、開業したばかりの土地家屋調査士や経験の浅い若手が孤立感を抱えたり、実務的な課題に直面したりすることが少なくありません。当会は、そうした若手会員が互いに連携し、実践的なスキルアップと温かい親睦を深めることを目的としています。現在は、20代から50代を中心とした約50名の会員が所属し、非常に活気あふれる団体です(46歳以上でも登録後5年以内であれば入会可能)。

その活動は多岐にわたります。最新の法改正や測量技術に対応するための業務研修はもちろんのこと、札幌青年司法書士会と合同で札幌市地下歩行空間にて無料登記相談会を開催するなど、専門知識を活かした地域社会への貢献にも積極的です。また、旭川青調会をはじめとする友好団体との研修会では、それぞれの地域が抱える課題について活発な意見交換が行われ、専門家としての視野を広げる貴重な機会となっています。

こうした専門的な活動に加え、会員同士の絆を深める親睦事業も札幌青調会の大きな魅力です。春の



花見、夏のゴルフコンペ、年末の忘年会といった季節のイベントは、単なる息抜きに留まりません。リラックスした雰囲気の中で、日頃の業務の悩みを相談したり、成功事例を共有したりすることで、仕事仲間として、そして友人としての強固で価値あるネットワークが築かれています。Facebookやブログといったツールも活用し、常に情報を共有し合える開かれたコミュニティが形成されているのです。

全国大会へ向けて

このような力強い活動と固い結束力を背景に、札幌青調会は「第19回全国青年土地家屋調査士大会 in HOKKAIDO」の主催という大役を担います。コロナ禍を経て、人と人が直接顔を合わせることの価値が再認識される中、全国の仲間たちが美しい北海道の地で再集結するこの大会は、これまでにない熱気と期待感に包まれることでしょう。学びと交流、そして友情を深める素晴らしい機会となるはずです。

全国の若手土地家屋調査士の皆様、この歴史的な大会へのご参加を、心よりお待ちしております。

宮崎会

「☆『バルーンリリース』に携わって☆ ～都城市立沖水小学校～」

都城支部 中村 仁司



『会報みやざき』第129号

昨年、都城市のある小学校からのご依頼を受けて、創立150周年を祝う人文字作りに挑戦しましたが、今年もその流れを受け継ぎ、都城市立沖水小学校から再び150周年の人文字作成の依頼を受けました。

このプロジェクトには、約900名の全校生徒が参加し、都城支部10数名の土地家屋調査士が協力して成し遂げました。私たちの心を一つにし、学校のグラウンドに「150」の文字を描くことができた瞬間は、格別なものでした。生徒たちが並び、バルーンを一斉に飛ばすという光景は、まさに感動の一瞬でした。青空に舞い上がるバルーンが、子どもたちの夢や希望を象徴し、心の中に焼き付く景色となりました。

この取り組みを通じて感じたのは、子どもたちの笑顔の力です。私たち大人の背中を押してくれるそ

の笑顔が、未来を明るく照らしていると実感しました。地域の未来を担う子どもたちとの絆を育むことができるということは、私たち土地家屋調査士にとっても大きな喜びです。

この成功を収めた人文字プロジェクトは、私たちの使命感を再確認させるものであり、これからも地域に貢献していく決意を新たにしました。今後も多くの学校と連携し、教育現場での活動を通じて、土地家屋調査士としての専門知識を生かしていく所存です。私たちの活動が、子どもたちの心に何かを残し、未来へとつながっていくことを願っています。

宮崎県の土地家屋調査士地上絵プロジェクト委員会一同、これからも地道に努めて参ります。どうぞ温かく見守ってください。



大分会

「令和6年度第2回全体研修会報告」

広報部次長 堀 健蔵



『おおいの標』第166号

令和6年9月28日に大分市の司調会館で令和6年度第2回全体研修会が開催されました。当日は動画撮影しながら講義を受講しました。みなさん撮影のときウロウロしていません、この場を借りてお詫びします。

最初の講師は宮嶋泰先生です。宮嶋泰先生はいつのまにか沖縄会の会員になられていまして、私はまだ沖縄に行ったことがないので、いつかは沖縄に船で行ってみたいなあ、ふと思いました。講義内容の境界鑑定ですが、第1部と第2部で合わせて3時間程あり第1部で「筆界を明らかにする業務の専門家とは」についての講義をされ、土地家屋調査士の使命「土地家屋調査士は、不動産の表示に関する登記及び土地の筆界を明らかにする業務の専門家として、不動産に関する権利の明確化に寄与しもって国民生活の安定と向上に資することを使命とする」とあり、その筆界を認識する上で原始筆界と創設筆界との区別はとても重要であるとの理解を深め、第2部の「大分の地籍」についての講義では、壬申地券(今でいう権利証)の発行によって近代的土地所有権が確立し、明治18年から地押調査事業が行われそのとき作成さ

れた更正図が大分県では一般的に公図として備え付けられており、その描画された筆界線が今日重要な資料になっていることを改めて再認識しました。

続いて「日本土地家屋調査士会連合会とは」の項目で、前連合会副会長、元九州ブロック協議会会長等を歴任されている野中和香成先生が講義をしてくださり、法務省という組織の説明から始まり、調査士と関係の深い民事局第二課、法務局等の方たちと、連合会及び各都道府県会の代表役員として話し合いをするときの、使命や責務についてのお話は大変参考になりました。

最後の講義として長崎会の名誉会長である船津学先生が持続可能な社会貢献の話をされ、その中の少年ソフトボール大会等を法人事務所名義で主催し、それがそのまま広報活動にもつながる話は、その発想も凄いですが、調査士として日常業務を行う中で、社会貢献のことも意識して考えていくことも大事なことのなのだとことを学びました。各先生方が講義してくれました内容を良く理解して、日々の業務に生かしこれからも頑張っていきたいと思います。講義をしてくれました各先生方ありがとうございました。



編集後記

紫陽花の色が雨に映える季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。暦の上ではまだ初夏ですが、日本列島各地では猛暑と呼ぶにふさわしい日が続いております。

さて、去る6月17日、18日の両日、東京ドームホテルにおきまして、日本土地家屋調査士会連合会の第82回定時総会が滞りなく執り行われました。本総会では、役員改選が行われ、岡田潤一郎会長が再選を果たされました。新体制の下、土地家屋調査士制度の発展と会員の皆様の業務支援のため、役員一同、より一層邁進してまいりますので、引き続きのご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。なお、本総会の詳しい模様につきましては、次号8月号において報告させていただく予定です。

そして、私事ではございますが、本年の役員改選をもちまして、私も連合会理事の任期を終えることとなりました。それに伴い、二年務めさせていただきました会報の編集長の任も、新たな担当者へ引き継ぐことになります。

在任中は、多くの方々に執筆や取材、インタビュー

を快くお引き受けいただき、また、広告出稿にご協力いただきました関係者の皆様には、この場を借りて心より感謝申し上げます。

なお、後任の編集長が正式に決定するまでの間は、私が責任をもって編集業務を続けさせていただきます。同様に、現場で取材にあたってくれた広報員のメンバーも、後任が決まるまではその任を全ういたします。本号では、退任する彼らからのメッセージも掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

総会最終日から二泊三日、広報部で苦楽を共にした仲間と共に、富士山、諏訪、そして名古屋へと駆け抜け、九つの神社でお礼参りをしてまいりました。四年間の理事活動を無事に終えられたことへの感謝を捧げ、これからの新たな出発を誓う、私にとって大切な旅となりました。

これから夏本番を迎えます。何かと気ぜわしい日々が続くかと存じますが、皆様どうぞご自愛ください。そして、これからも会報「土地家屋調査士」にご期待いただけますと幸いです。

広報部次長 中山 敬一(兵庫会)

土地家屋調査士

毎月1回15日発行

定価 1部 100円
1年分 1,200円
(送料別)

(土地家屋調査士の会員については毎期の会費中より徴収)

発行者 会長 岡田 潤一郎

発行所 日本土地家屋調査士会連合会[®]

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町一丁目2番10号 土地家屋調査士会館

電話：03-3292-0050 FAX：03-3292-0059

URL：https://www.chosashi.or.jp E-mail：rengokai@chosashi.or.jp

印刷所 十一房印刷工業株式会社